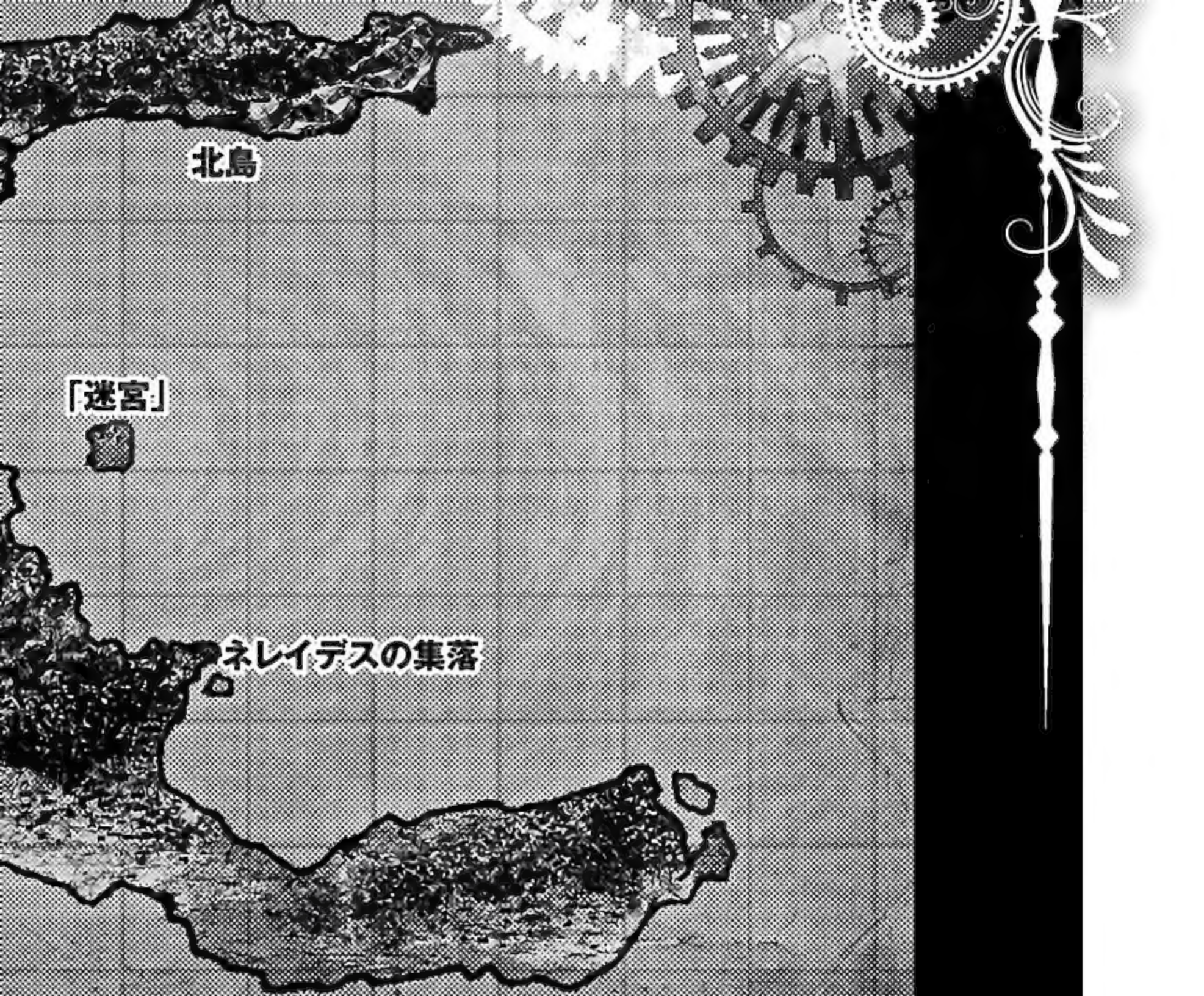
4
神呪のネクタール
しんじゅ
原作
吉野弘幸
漫画
佐藤健悦
Champion RED Comics
RED

4
神呪（しんじゅ）のネクタール
原作 吉野弘幸
漫画 佐藤健悦
RED

前巻までのあらすじ

ドワーフの国・ガランドアへ赴いたカイ一行に与えられた使命は、ドワーフの神妃(アンブロシア)・ドルネアを手に入れること。ドワーフとの技術勝負に挑んだカイだが、勝負の最中にガランドアはダーラ共和国の侵攻を受ける。カイの造った機関車と、ドルネアの呪乳により発現したイフリートの力で、ダーラを押し返したガランドアだが、ダーラの科学者、ドクター・ヴェラントは化学兵器を使おうとし…!?

〈ネレイア島〉

ブレドの屋敷
油田地帯
北の街
ダーラ軍港
南島

登場人物

カイ・ワタリ
異世界に召喚された"稀人"。"呪乳"の力を得て無敵の戦士に変身する。
グレイの遺志を継ぎ、サクラを守ろうと決意する。

サクラ・シャクンティーラ・アドニエラ
ダーラ共和国に滅ぼされたアダール侯国の姫。乳房に神秘の力を宿す
"神妃"。その力のため、ダーラ共和国に追われる身となる。

ドルネア・ガランディアーナ
ガランドア統領・ハヴォルの妹。乳房にイフリートの力を宿す"神妃"。
一見淑やかだが、戦闘となれば巨大なハンマーで敵に立ち向かう強さを持つ。

ギル・ガーラ
暗殺組織ハサスの傭兵。ダーラに雇われ、神妃を狙い、サクラを追っていた。
ガランドア攻略戦にも、"氷姫"シズナとともに参戦し、カイと再会した。

目次 CONTENTS

初出／チャンピオンRED 2018年1月号〜4月号
※この作品はフィクションであり、
実在の個人・団体などには一切関係ありません。

第13話／迫りくる毒ガス

グレイさま…
凄まじいものだ…
これが神呪の力か…
もはや敵軍は壊滅状態!!
我らの勝利ですぞ!!
まだだ

――まだ終わらせぬ!!!
雷帝(インドラ)に続いて焔帝(イフリート)までも顕現(けんげん)させてしまった不覚
この手で晴らす!!!

ビキ
ビキ
ぬうッ!!!
グ
パキキ
バキ
バシャアア

やるな
あの傭兵(ようへい)…
感心してる場合ですか!!
むう
わかっておる
ヤツの力の源はあの氷姫(グラキエス)だ
狙うならば――
雪女め
これ以上はさせぬ!!!

氷姫殿を守れ!!!
我らの最後の希望だ!!!
氷姫殿!!
俺らが盾になります
気にせずギル＝ガーラ殿に力を!!
皆さん…
ふんダーラにも武人の矜持を持つ者がいたか
貴殿らと戦えること
嬉しく思うぞ!!!

準備完了!!!
です

よし
総員に退却を命じ――

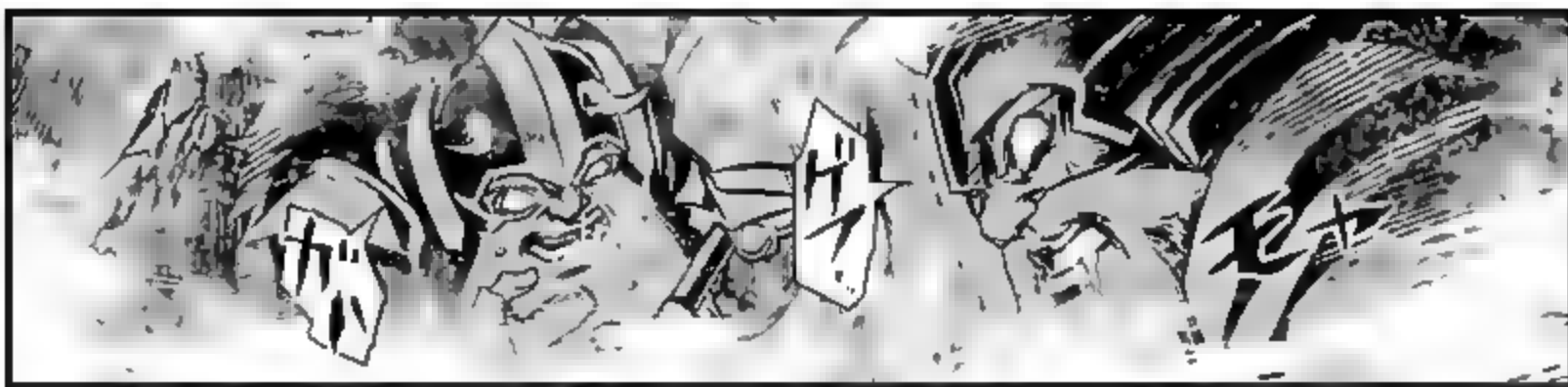
馬鹿言っちゃいけません
撃つならこのままです

ここまで装備や人員兵站を失っての退却戦は地獄ですよ?
皆いっそ奮闘の中で果てたいのではありませんかねえ?

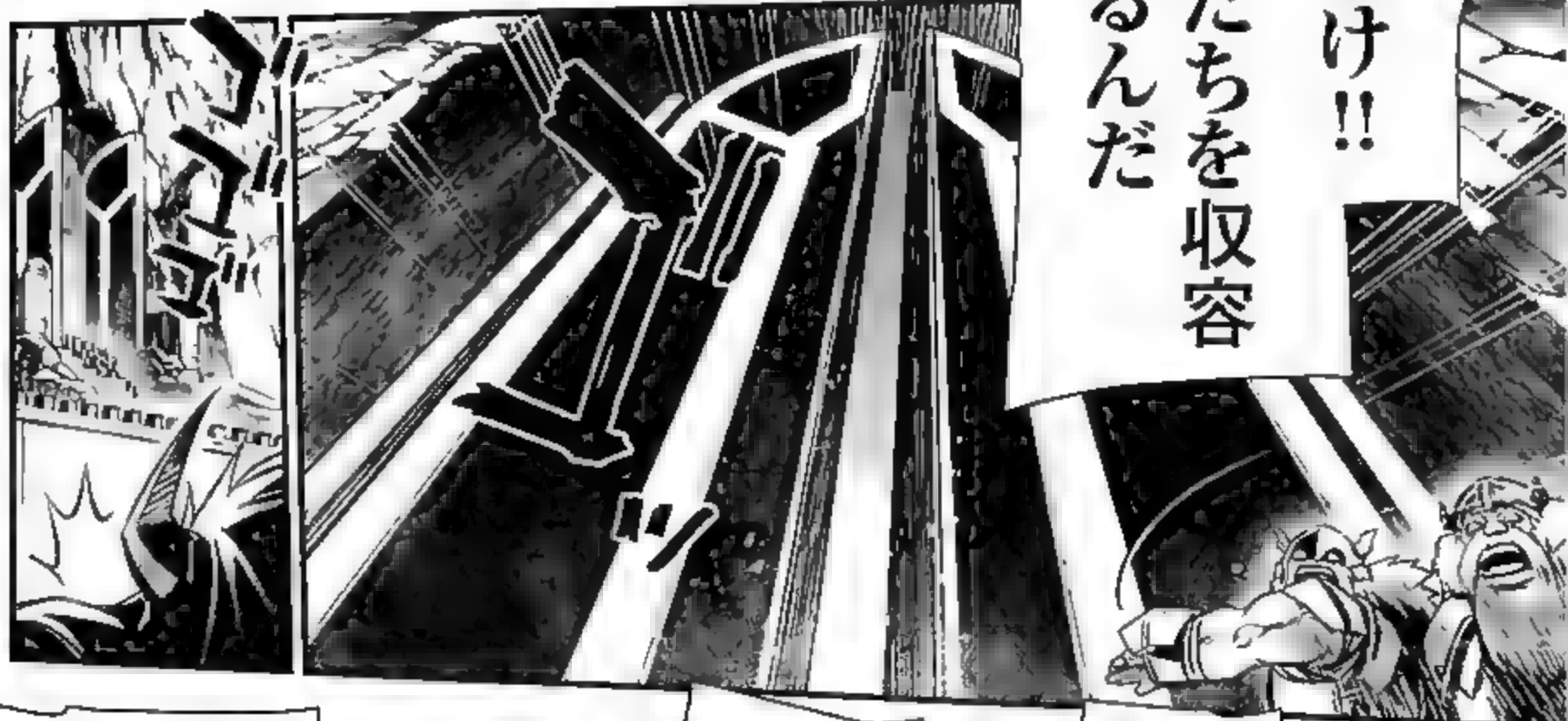
ドドド
砲撃だ!!!
退避──っ!!!
支援攻撃のつもりか…!?
ヘタクソめ!!

ブワァ
なんだ?
煙幕……?

ゲフ…
ガハ

なっ…イ
呼吸が…
カハ
…まさか!!!
ドサ
ドサ
バタ

皆
下がれっ!!
絶対にあの煙を吸ってはならん!!
あれは毒ガスだ!!!
即効性だと…!?
なんという威力の毒ガスだ…!!
ええ!!
ええ!!!
ええッ!!!
これまで戦場に投入された塩素や糜爛剤などより
圧倒的に!!
致死性の強い毒ガスです!!
私が製法の知識を吸い取ったマレビトは『サリン』と呼んでいましたよ

ドガガガガ
退却――!!!
味方もろとも毒ガス攻撃だと……!?
この愚かモノ共がぁっ!!
来てはダメです旦那様!!!
!!
シズナ!!

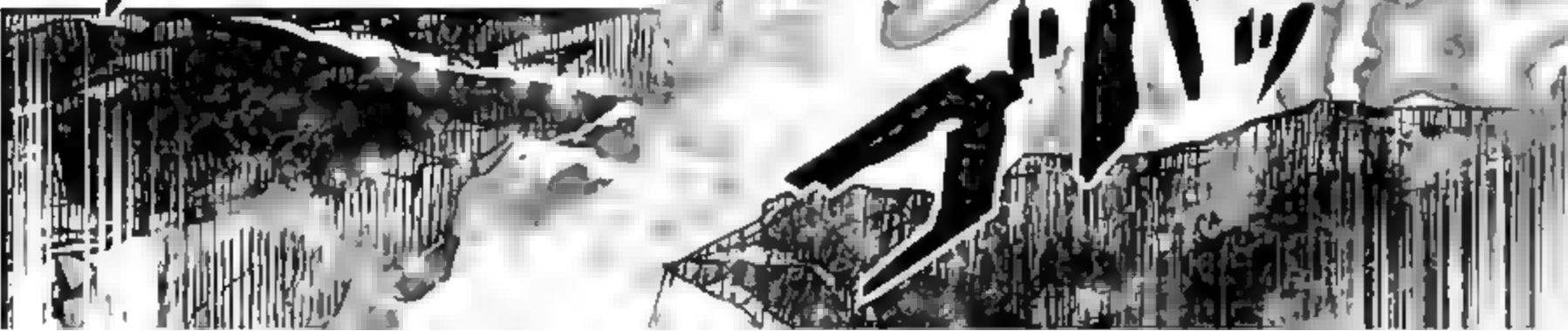
シュゴオオ

城門を開け!! 兵たちを収容するんだ
ザッザッ
ゴゴゴ
いかん!!!
待ってましたよ!!!
ギリギリ
残りの全弾を門の中へ!!

ああ…見える
見えます!!
閉鎖された洞窟の
中であのサリンが
どれだけ効果を
発揮するか!!
これぞまさに──
科学の勝利!!!!
です!!!
城門に…!!!

グレイさま!!!

ガランドアの
守護神たる
イフリートを宿し
御方よ!!
どうか
我が民を
お救い下さい…!!!

く…来る…ッ!!!
!!!

マグマの壁だと…!!
…!!
バッ
シズナ!!
バシュウウウ
旦那様煙が…!?
ドドドド

貴様・・・
礼は言わぬ
――が
ここは借りておくぞ
ドドッ
ドドドオオ
馬鹿な・・・!!!
おやおや
これは残念
――
サリンは熱に弱い
という欠点が
あるのですよねぇ
――今回は
向こうの勝ちですね
ドアァ

ここまでです
でも面白い実験でしたよ

——では失礼

ヴェラントっ!!
貴様ああ——ッッ!!!

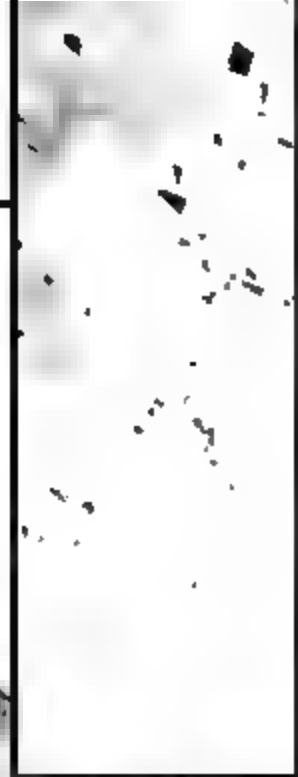
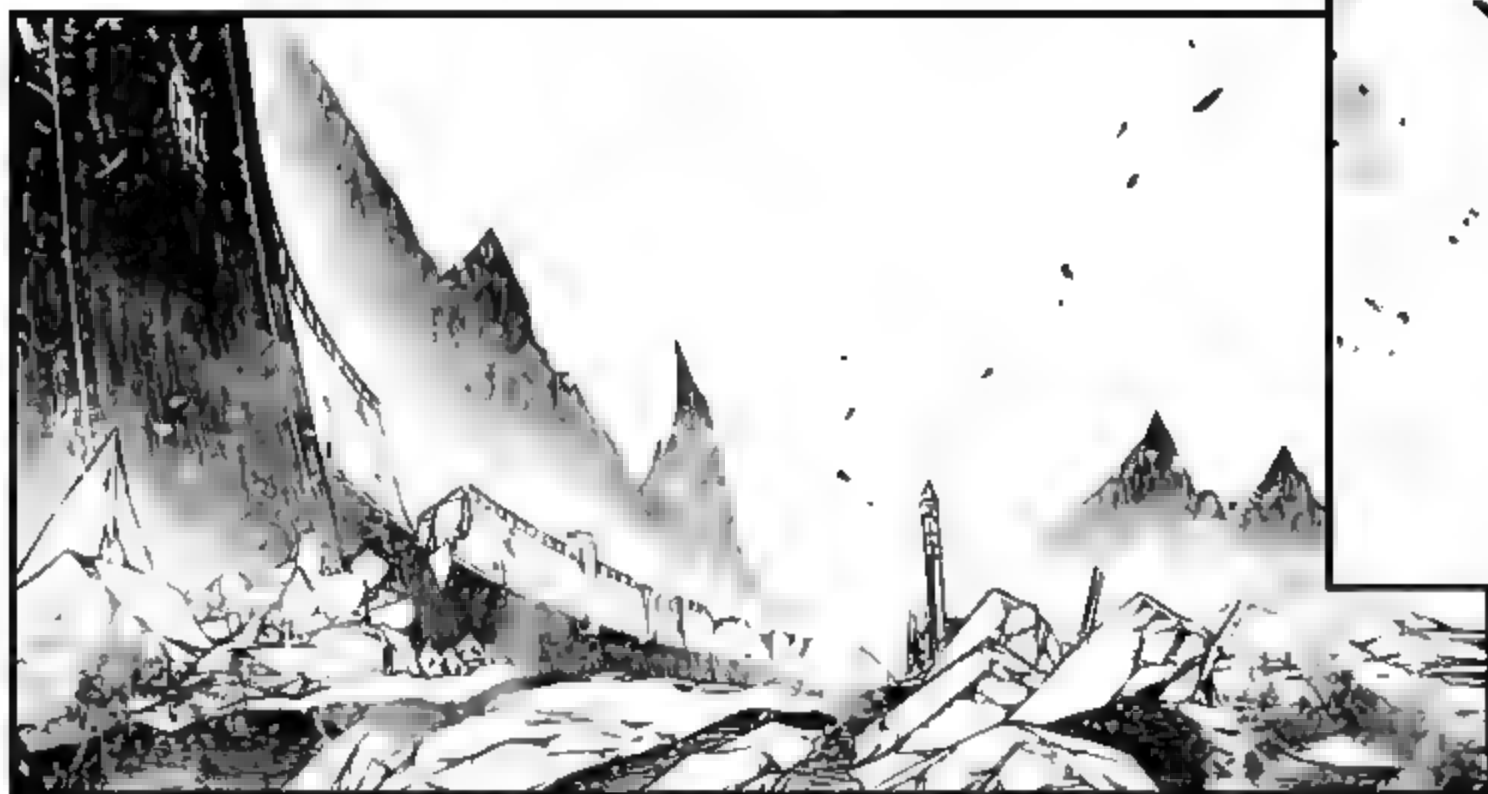
グレイ様

タタ

よかった…君が

無事で…

ギュ

ワァアア

ズッ
この度の戦功によりグレイ・エンフィールドを我がガランドアの貴族と認め
伯爵に叙す!!!
承知してくれるなグレイ

…いいんですか
俺は貴方の嫌いなエルフですよ？
ギ
俺だって不本意だ!!
だがこうでもせんと周りが納得せん
では喜んでお受けします
おめでとうございます
では以上で――
お待ちくださいあにうえ
戦功で叙任されたものは爵位の他に望みの褒美が与えられるはず
まさかお忘れですか？
ニコ。
忘れたわけではない!!
問いたとおりだ望みを言え

姫さん気が気じゃねぇだろうな

一国の姫をどうにかしようってんなら嫁に貰うのが一番だ

爵位も手に入れてもう障害もねぇし…

工房を一つ
いただきたく
存じます
!!?
!!!
工房…だと？
はい
可能ならば
今回あの機関車を
作ってくれた
者達と共に
俺はそこで
様々な
新しい製品を
作りたいのです
あの機関車や
ボールペンの
ような
もちろん
得られた利益は
公平に分配します
生み出された
新技術の情報も
アルビオンと
ガランドアで共有する
いかがです？

願ってもない…が
本当にそれでよいのか？

——はい

よし!!
では共にガランドアの新たな繁栄の礎となろう

新たなる我らが同志に
今ひとたびの快哉を!!!

オオオオ

ちゃぷ…
はあ…
緊張したあ〜〜〜…

ほへ〜
でも同盟も
結べたし…
ドワーフの技術力は
きっとこの先
戦っていく上で
重要になる筈だ
ぷか

パチャ

あれ？
たしか
入るときに
ニアが――
ここのお風呂は
アタシたちの貸切に
してくれるって
しばらく誰も
入れないから
ゆっくりすると
いいよ伯爵サマ

アランかレンでも
居たのかな…？

ザァ
えーーっ!!?
カ
カイさんっ!?
どうして!?
うわわわ
ごめんなさいっ!!

ニッ
ニアが誰もいないと言ったんです!!
本当です!!
じゃあ…きっと彼女が
気を利かせてくれたんだと思います
気を？って…？
……私がずっと気にしていたから
あの…カイ
みんな戦功の褒美には
ドルネアさんを望むものだと思ってました
なのにどうして…？
……
そんなこと…したくなかったんですよ

――人を
褒美に貰う
なんて…
それに
おれの今の目的は
あなたの国を
取り戻すことです
その約束を
果たすまで
おれは結婚とか…
そんなの考えられ
ません
カイ…
異世界から
渡ってきたおれが
生きていられるのは
おれなんかのために
命を賭けてくれた
グレイさんと…
サクラさんの
おかげなんですから…

やはりグレイさまはマレビトさまだったのですね

どっドルネア!!?

どうして!?
王族だけが知る別の入口があるんです
グレイさまにお願いがあって参上しました
風呂に!?
裸で!!??
はい

お二人の話は聞かせていただきました
…グレイさまがわたくしを望まなかった理由も
ですからグレイさま改めてお願いいたします

娶ってくれとは申しません
でも
せめてグレイさまの部下としてわたくしをお連れくださいませ!!
あにうえには絶対に許可を取りつけます!!
グレイさまと共に外の世界を見て沢山のことを学びたいのです!!
ずん
ずん
ですが…!!
サクラさま!!
これからは同じグレイさまを愛する者として
お側でお助けしましょう!!
ね?

ちょっ
ちょっと待って下さい!!
私
別にこの人の事を愛してなんか──
バシャ
パシン
逃げちゃだめですよ
隠してもドルネアにはちゃくんとわかります!!
きゃあっ!!
バチャ
バチャ

なんだか
えらいことに
なっちゃってる…

けど…

工房は引き受けた
いい旅をな
タタン
ありがとう親方
しかし…本当にハヴォル殿から同行の許可を取り付けるとは…
わたくしの本気をあにうえもわかってくれたみたいです
でも見送ると絶対に泣くので
来たくないと
タタン
少佐!!

リギア!?

どうした
大尉
迎えに来る
予定など
なかった筈だ
いえ
実は
リュカ殿下より
次の任務の命令が
下ったのでお伝えに
任務って…
しばらく休暇とか
ないんスか!?

休ませるか
バカ
お前はこのまま
動け
と
はぁ
それで
次はどこに?
海です

ゲ

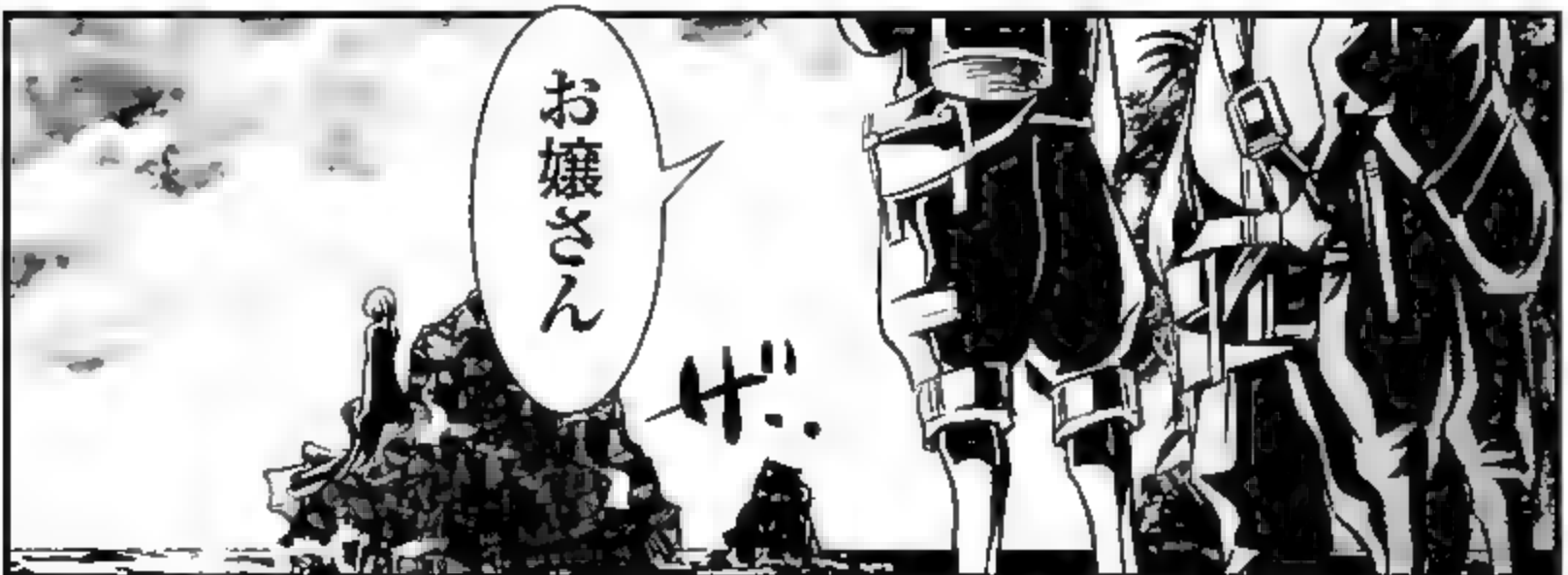
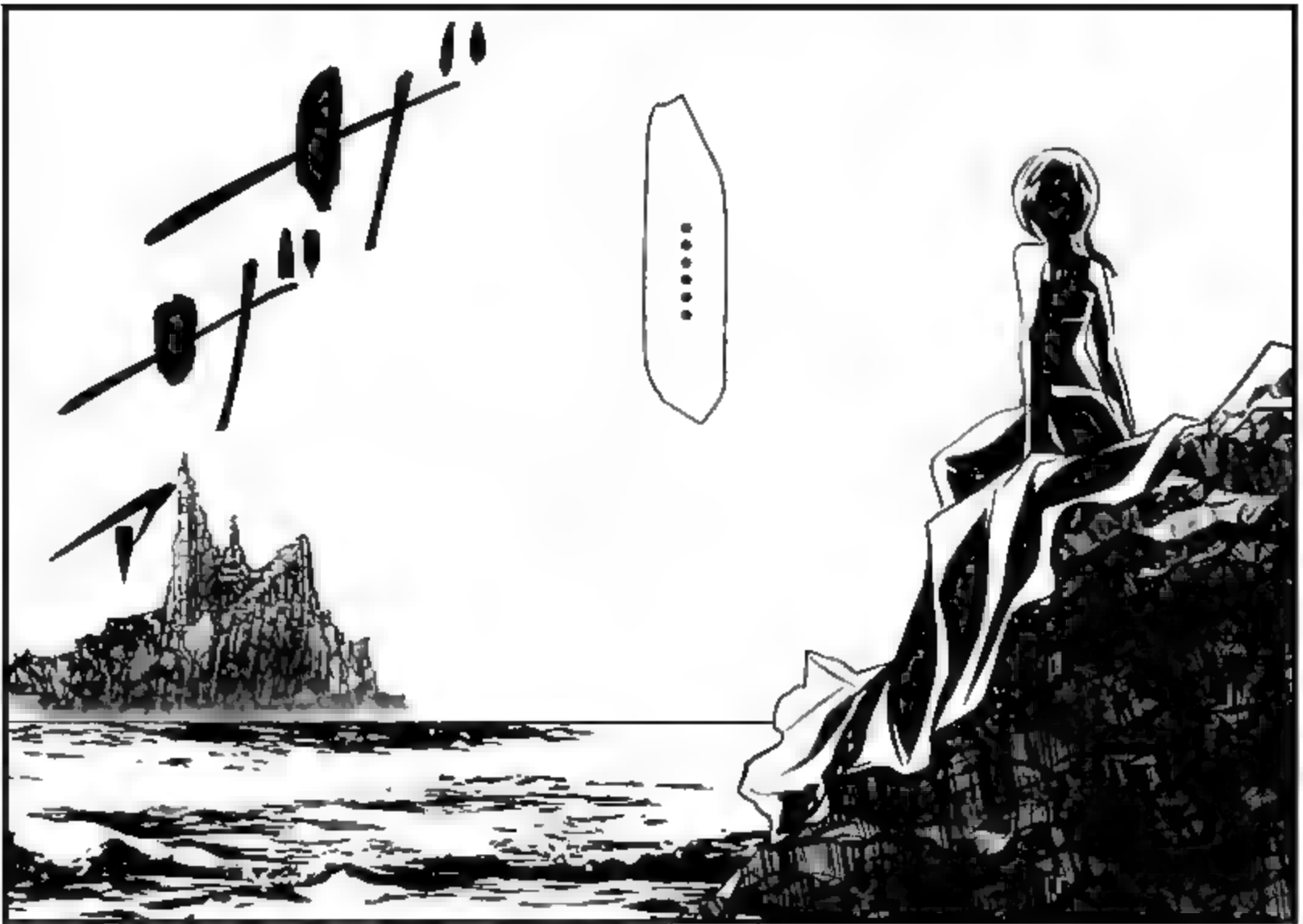
ネレイアってもしかしてあの…

〝迷宮(ラビュリントス)〟の島か!!!

タリアーデ海
ネレイア島

ザザア
……

ネレイアの迷宮に
徒歩で渡れる浜
ってのは
ここでいいのかい？
ザァン
もし迷宮に
行くつもりなら
やめた方がいい…
なぜだ!?
わかるの
行けば
あなたたちは…

死ぬわ

【毒ガス兵器】 科学技術の発展に伴い、様々な新しい兵器が次々戦場に投入されるようになったが、それらの中で近年最も『戦場の様相を変えるのではないか』と言われている発明が、人為的に合成された、人体組織を侵す有害物質による攻撃、いわゆる毒ガスである。防護装備を持たない敵に関しては一度に多数の死傷者をもたらすことが可能だが、その非人道性から運用を禁止すべきではないかという意見もある。特に最近では、これまでの遅効性の毒ガス（ガスを受けてから発症するまで時間がかかった）に比べ、即時に効果が現れる致死性の毒ガスが開発されたらしいという噂が広まっており、戦場の兵士を恐々とさせている。

【氷姫（グラキエス）】 神代の終焉と共に魔法の力は失われてゆき、一方での科学文明の発達と共に、各民族はそれまであった神々の加護を手放して科学の恩恵に浴するようになってきたが、辺境地帯には未だに神々を真摯に奉じてその力を維持しているものたちがいる。氷姫（グラキエス）と呼ばれる、氷雪を操る力を持った女性を輩出するのも、近年までほぼ鎖国状態にあり西方文明圏と没交渉だった東方地域の民族であり、彼女たちは神々の加護において自在に雪や氷を産み出し、また第三者にその力を与え武器として使用されることもできるという。

第14話／ネレイデスのシエラ

――タリアーデ海――
ネレイア島

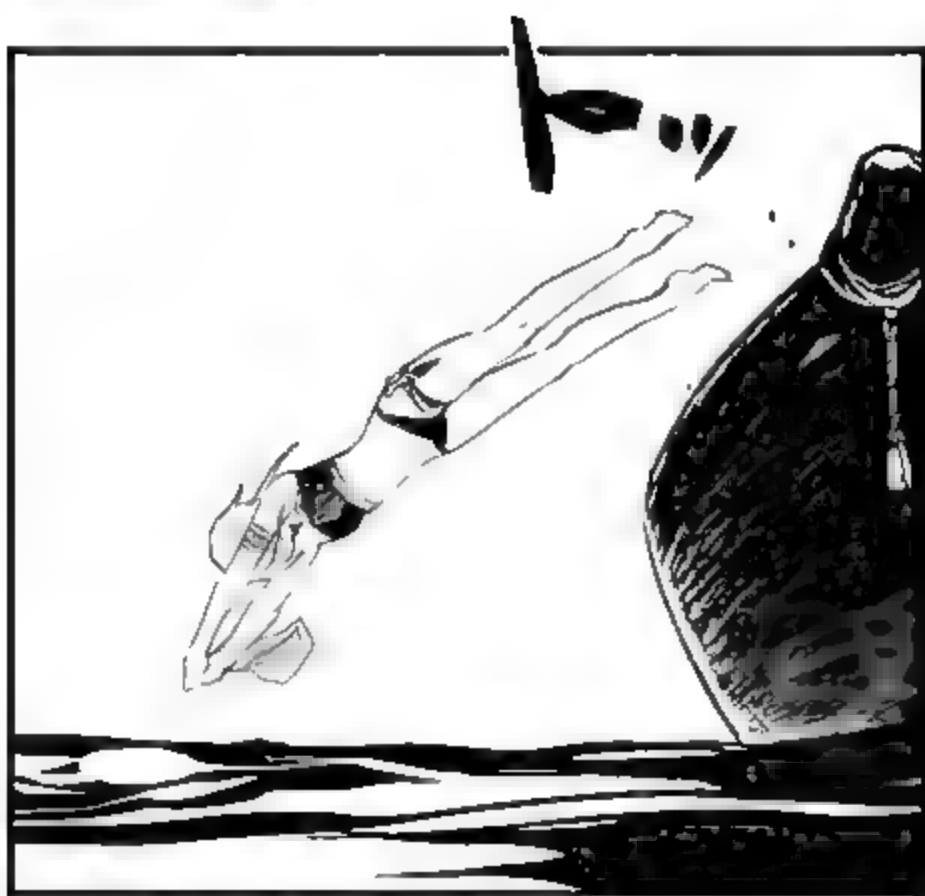
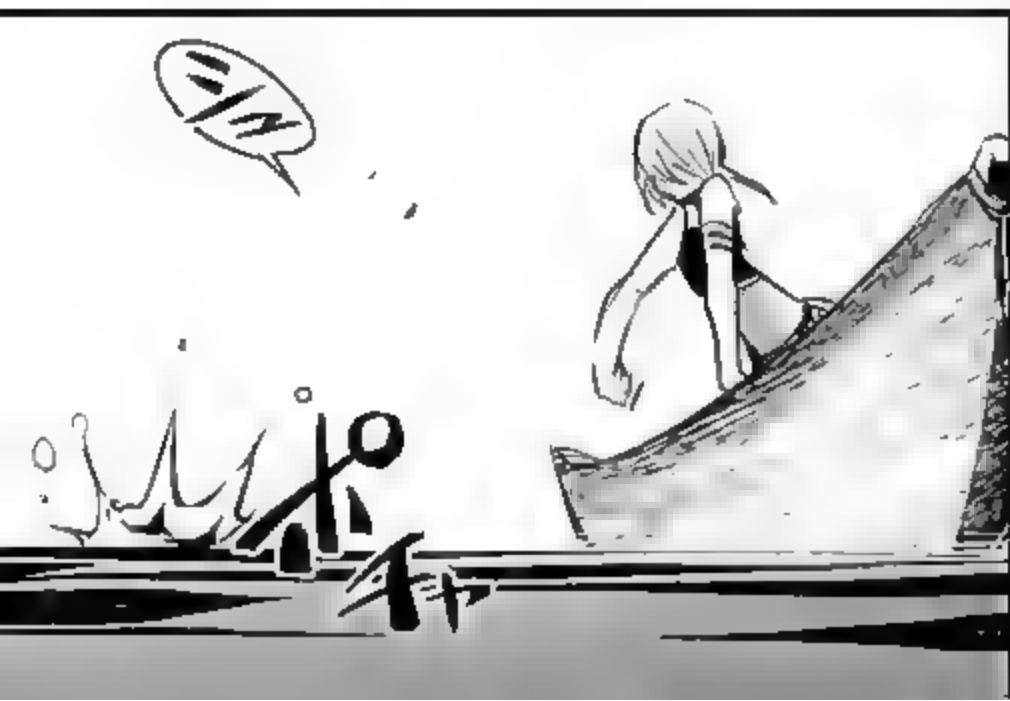
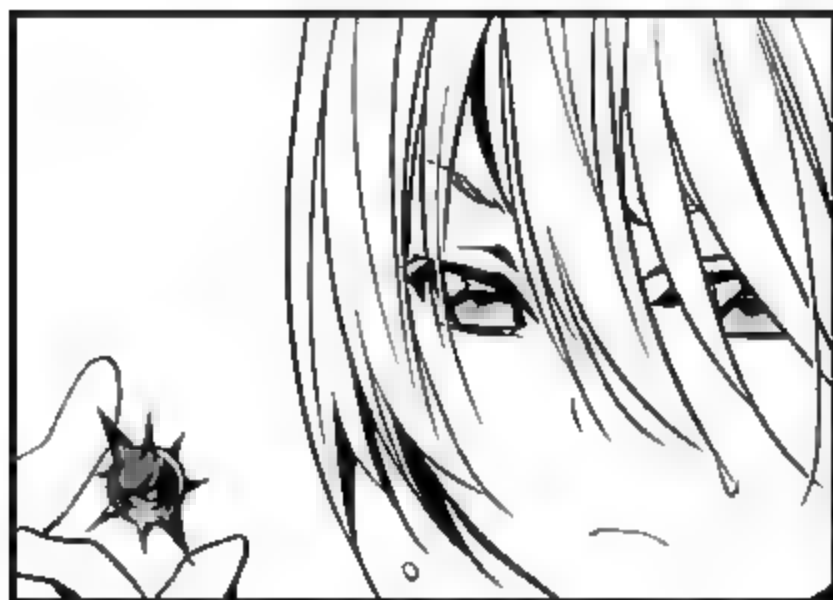
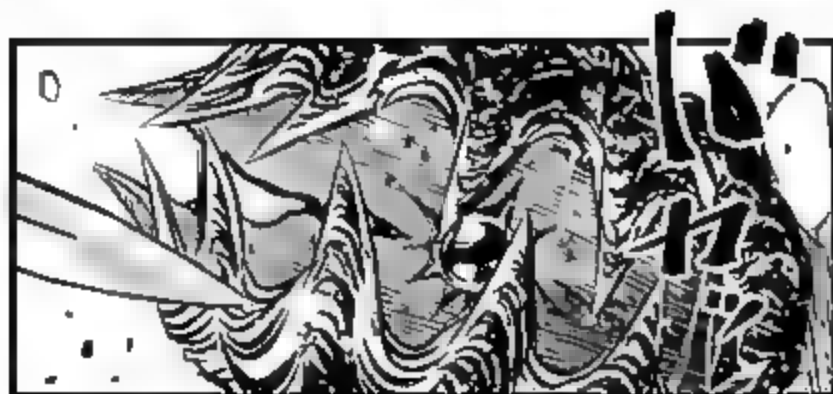
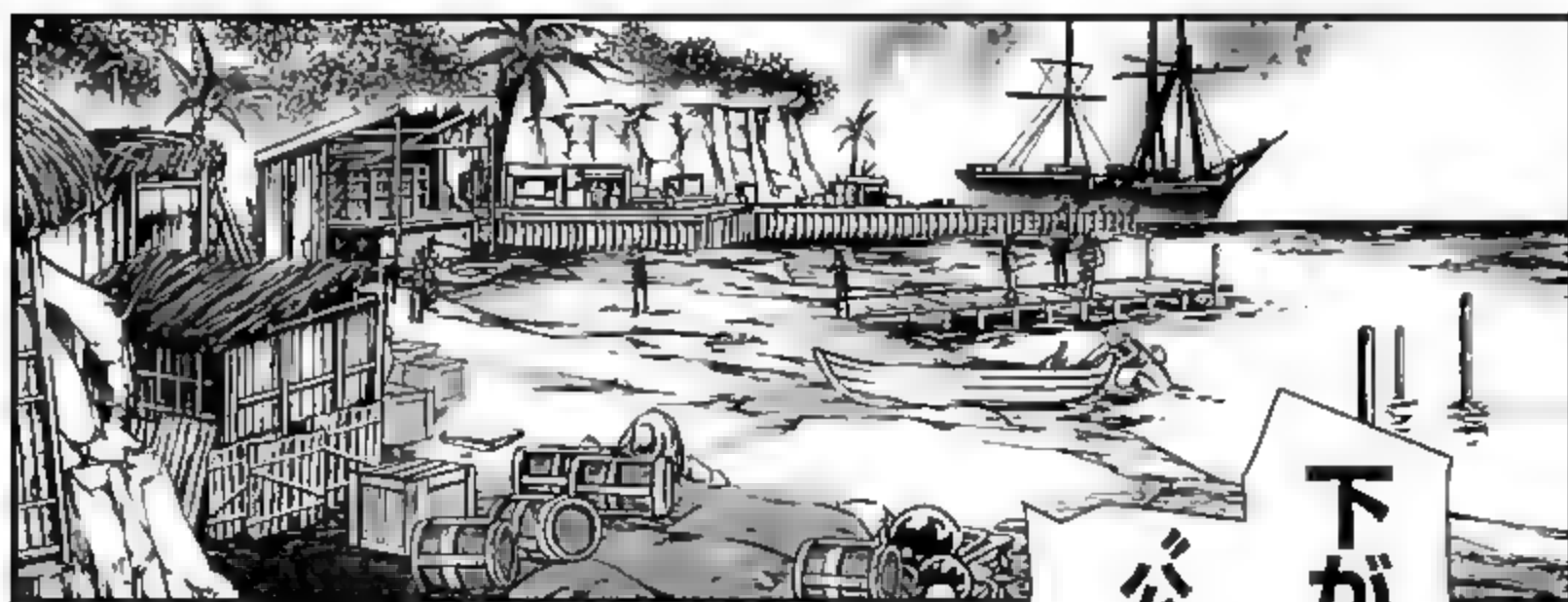
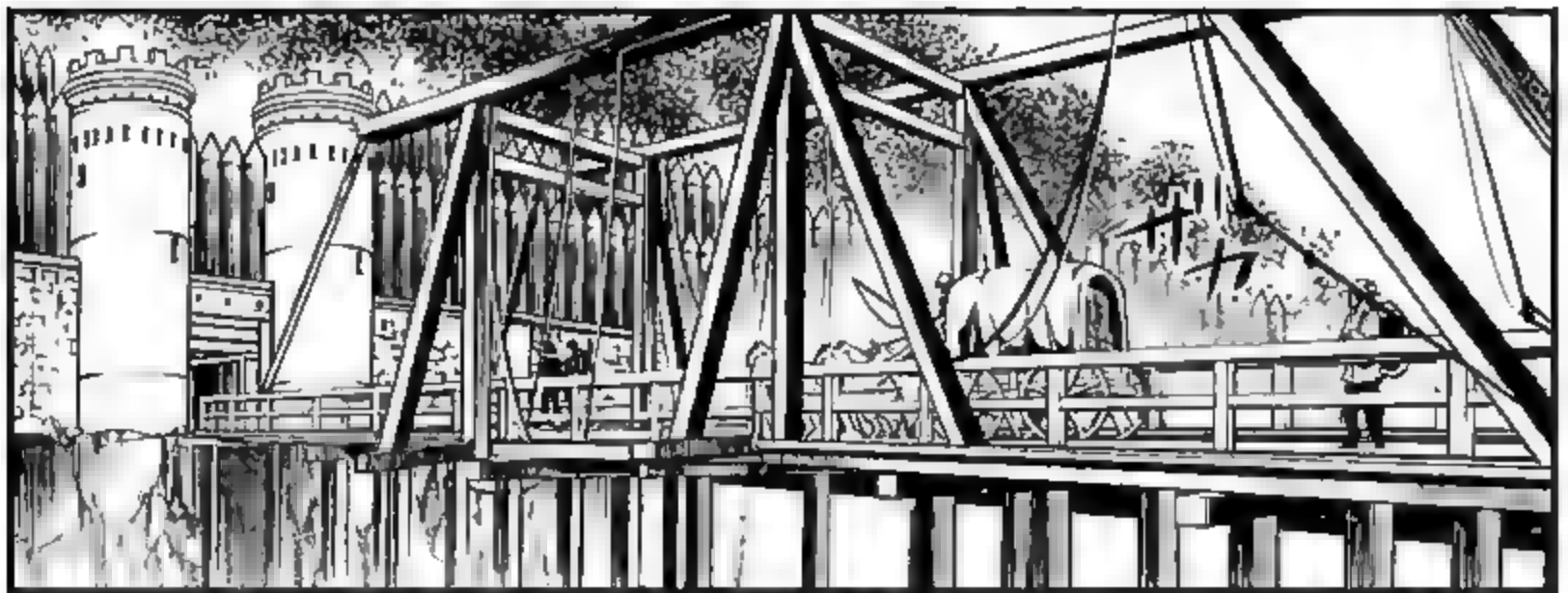
ギッ
シュル

トッ

ザブ

ドサ
ポチャ

下がれ!!
〝公社〟の荷だぞ!!
ガラララ
みな道を
空けろ!!
ドドキ

ガタ

ほら
ボヤボヤ
すんじゃねぇ!!
魚が腐っちまうぞ
キリキリ働け!!!
ザ
お
シエラじゃねぇか
今日の分
どさ
フン…相変わらずいいサイズのキール貝だ
ロブータもヒゲや脚が揃ってるな
――南の岩場か?
コク

助かるぜ
北側が立入禁止になって久しいしな
――こんなモンでどうだ？
パチ
パチ
……
…
ピ
……わかったよ
ほれ
パチ
売った
ガチャ
あ
グラ
ゴァァ!!
おい新米!!!
この黒キールをダーラの公社に納めりゃ幾らになると思ってんだ!!
お前の給料なんか簡単にふっとぶぞ!!
すんませんガトクさん!!
ったく…

そうだシエラ
また〃迷宮〃に潜りたいって客がいるんだが
どっから聞いたのかお前をご指名なんだ
久々にガイドやらねえか？
やせっぽちの獣人だ

フルー

帰らない人たちをあそこに送り込むのは
もう
嫌
…だよなぁ

なんだって外の連中はあんなところに命懸けで潜りたがるんだか…
仕方ねぇ上手く断っておくよ
ガトクさんあの子…

すげぇ
キレーですけど
もしかして…？
お前は初めて
だったか
そう
アイツはこの島の
先住種族…
〝ネレイデス〟の
娘さ
見ろ
このキール
素潜りで
取ってくんだぜ
でもおれ
ネレイデスって
ここ来て初めて
見たっすよ
みんな奴隷にされて
売り払われたって
聞いてたし…
…そうだな
マジすか⁉
『人魚の子孫』って話
やっぱホント
なんすかね……？
よお
ガヤ

例の案内人はどうなったよ

あーわるいわるい
話したんだがやっぱりイヤだって――

何だと

はいよ　いつも　どうもね

お前がネレイデスの迷宮案内人か

もう辞めたわ

いいから俺たちを案内しろ

それを手伝えるなんて
光栄だろうが！
嫌よ
なぜだ
死ぬから
——あなたたちが
んだとぉ!!?
おいおいおいおいおい!!
見てわかんねぇのかァ!?
俺たちゃ
プロの冒険家だ
その辺のシロウトと
一緒にすんじゃねえ!!

ギ
んだよ その目ぇ!!
ここじゃ お前達みてーな 奴隷を殺したって 誰も咎めねぇ んだからな!!
私は 奴隷じゃ ない
……っ
娘

後悔することになる前に
俺たちに従え
感心できないなぁ
女の子一人に大の男がよってたかって…
なんだテメエ!!!
関係ねえヤツぁすっこんでろ!!!
ザ
通りすがりの旅芸人ですよ

下がるのは
貴様だ
下衆め!!!
なっ!!?
うちの踊り子
たちは
ちょっと血の気が
多くてね

さっきから必死でなだめてたんだがもう限界なんですよ
ここは引き下がってもらえませんか？
黙れ殺すぞ

だめですよ
グレ…じゃない
カイさんに
そんなこと
しようとする
なんて
俺の…剣…
…が……
めっ
てっ
テメエ…
!!!

まだやるつもりか？
わたくしたちいくらでもお相手しますすよ？
ゲ
覚えてろ!!!
ダッ
災難だったわね
いやあ～すごいなあんたら
ザ!!
悪かったあんなデカいのが一緒だなんて知らなくてな
…ありがとう…
ガトク…

脅されて
つい このバカが口を滑らせちまったんだ

すみませんっ!!

だが助かったぜ

ええと…?

俺はカイ
旅芸人の一座を組んでます

他所モンだよな?

ええ
駐屯してるダーラ兵も多いし
一稼ぎ出来るかと思ってこの島に渡ってきたんですが…

思うようにいかなかったろ
兵隊がいるのはダーラの国営公社のプラントがある
北側の街だけだからな

北側で商売するには面倒な手続きと結構なカネがかかると聞いて
途方に暮れていたんです
いいだろう
シエラを助けてくれた礼だ 俺が繋いでやるよ
!!
本当ですか？
赤竜の逆鱗にかけてな
——但し 紹介料は上がりの三割だ
二割なら
二割七分
五分
よし!! 商談成立だ
しばらくまってろ
ザッ
ツイてますね 思わぬツテが拾えました
ピン
人助けはするものだね
どうぞ ネレイデスのお嬢さん
スッ

危ない!!
ズキ
痛っ
痛っ…
ツイ
……
おっ

……!!
すっ すまない
けっして意図的にやったわけでは——!!
死んで

ネレイデス——
人魚の末裔と言われる
希少種族
だが伝説のような
魚の下半身はなく
普通に二本の足で
歩く
このネレイア島の
先住種族であり
かつては
タリアーデ海を
支配して
一大帝国を築いた
人魚族の子孫だという——
有名な
迷宮も
その時代の
遺跡の一つだ

だが
この島は70年前に
ダーラに征服され
植民地となり
強制労働に
従事させられたり
その希少性から
奴隷として売られた
ネレイデスは
急激にその数を
減らしていったのだ
という――
…なるほど
ネレイア島と
ネレイデスの
悲劇の歴史は
わかった
で
リュカ殿下の
指令は？

最近このネレイア島の領主がかなり大きな利益を得ているようなんです
その秘密を探れ──と
島の主な輸出品は？
油…灯油ですね
大規模な油田と精製プラントがあります
灯油のみか？他の成分は？
分留した残りは揮発性が高かったりで使い勝手が悪く…
いまのところほとんど捨てられている筈ですが…
もしや良い使い途をご存じですの？
アハ…それについてはまたの機会に
殿下は『灯油ごときでこの額を稼ぐのは絶対に無理だ必ず秘密がある』と
その〝秘密〟を探れ…か
了解した

でも珍しいっすね
いや…今度は少佐がオッパイ吸う任務じゃねーんだなぁ…と
ピキ
アアアア
アラン曹長っ!!!
失礼だぞ!!!
そうだな少しホッとしたよ
まあその・・・そういう任務でないのはたしかに喜ばしいですが
くあ
コホン

なにしろ
現在のネレイアの
領主は——

これが
私たちの村

……!!

なんでこんなとこ
…水の上なんか
住みにくそー
決まってるの
ネレイデスは
この村にしか
住んではいけない
老人と
子供ばかり
ですが…
皆 漁に？
違うわ…
シエラ!!
やっと戻って
きたのか!!
お前の父親
が
北側に
行っちまった!!
これを渡して
くれって…!!
カサ

すまない
これ以上負担はかけられない
私はダーラのプラントに行く
病に冒されたこの身だが
死ぬまで働けば
彼らは借金を
帳消しにしてくれると
約束してくれた
だから私は行くよ
――元気で
父さん…
もう
何年前になるか…
シエラの母親が
病気になってな…
クスリや医者に
診せるのに

ダーラの公社から
借金をしたんだ
だがその
甲斐もなく……

悪いことに
父親もじき
同じ病気に罹って
働けなくなって
……いまり
あの子が生活を
支えてたんだが…

海が汚れてきて
魚の数もずいぶん
減ってなぁ…
食い詰めた者は
皆
ダーラのプラントに
身を売るハメに
なるんじゃよ

じゃが
ほとんど帰って
くるものは
おらん
そんな…

おい
お前ら!!!
ズバッ
さっきはよくも
やってくれたな…
俺たちを
馬鹿にした
報いを受けて
もらうぜ!!
増えた!!
三人パーティー
かと思ったら
そんなに
居たのぉ!!?

あの迷宮に挑む以上
万全の準備をする
俺たちはプロだからな
さあ
謝るなら今のうちだぜ!!
やめておけ
俺たちには勝てない
ネレイデスなんざもう絶滅する種族だ
いっそ村ごと焼き払ってやろうか!?
ほざけ!!
…なら先にお前達が滅べ

んしょ
剣と槍は我々がやります
火矢が少し厄介ですが
いやいい
――今回は俺がやる
サクラさん
――お願いできますか？
……っ
この村の人たちの為だし…
……仕方ない
ですけど――

!!?

ふふ…

ペロッ

サクラも少しは成長したようだな
実は少々喜んでおったぞ
…あとで怒られますよ
ふふ… かまわぬさ
——さあ カイ 妾が下僕よ
妾が乳房には神宿る
吸うて呪わる覚悟はありや？
はい

ならばとくと味わえ
妾が甘美なる呪乳を――
ヤ

ひっ
ひえええ…!!

あなたたち
一体…

知らない方が
いい
僕らはこの島で
ダーラが
何をしているかを
調べに来たんだ

じゃあ
ダーラの敵…?
そうなるね

だったらお願い
──私も
一緒に連れてって

ガトクから話は聞いている
通れ
どうも
ガタ
いよいよですね
気を引き締めて行きましょう
――ああ
そうだ
油断は出来ない
なにしろ
この島の領主は――

――現在のネレイアの領主は
ブレド・レガン
そう…あの悪名高いダトラ総督です

第15話／潜入調査

想像してたより
ずいぶん大きな町
でしたね――

ね
サクラさま
そうね
酒場もかなり
賑わってるし
ちょっと驚いた
かも

そんな沢山の人の前でサクラさんの竪琴と歌で踊れるなんてわたくし とても楽しみですわ!!
……
はあ〜〜〜
ずぅん
サクラさまもドルネアさまもよくそんなに落ち着いていられますね…
このリギア貴族の子女のたしなみとして歌舞音曲はいちおう仕込まれましたが
こんな大勢の前で——
しかも!こんなきわどい衣装で踊るなんて初めてなんです!!
ひろ
何の端ギレですか!?

お姫さま…か…

ブチ ブチ…

皆 本番前の腹ごしらえだ

ここのメシはどれも中々イケるぞ!

特にキール貝(うま)ってのが旨くて――
きゃあああーっ!!!!
ビュッ

すまない
事故だっ
ノックしようにも
手がふさがってーー
だっ
てっ
だったら一声
かけるべきでしょ!!!
ゴラァ
悪かった!!
料理がダメになる
とにかく
勘弁して
くれ!!
ガーッ
最低
たっ

──島の北部にある
プラント労働者と兵士のための街には
おどろくほどすんなりと入ることができた
そして実際に足を踏み入れてみると街は活気にあふれていて
"植民地での強制労働"という言葉で気構えていたおれは──
少し拍子抜けした
それはシエラも同じだったようだ
ただ酒場で少し話を聞いてみたところ──

ここの主産業である
石油採掘・精製プラントでは
ネレイデスたちの
姿はまったく
見かけることが
ないという

島に連れて来られた
ネレイデスが
どこでどう働かされて
いるのか……
それが
この島の異常な
高収益に
つながっているのか
それが
今回の調査の
鍵となりそうだ
キィ
準備できたよ
カイ
ひょこ

え？
……!!

シャラ〜
皆 とても 素敵だ
…ホントに？
気に入って いただけましたか？

もちろん
こんなに美しい君らの踊りが見られるなんて
今夜の客たちは幸せだね
そんな…

キザ

相変わらずキビしいなぁ…
そろそろ出番だぞ!!
!

じゃあ予定通り
君たちが踊っている間に俺とシエラは抜け出して あたりを偵察してくる

お
見ねえ
踊り子たちだな

外から来た
らしいぜ

へー

イイね

タッ
おお!!!
美人揃いじゃねえか!!
なんかいいぞ!!!
ヒュー

ドッ
ワアアアア
うおお!!!!
いいぞー たまんねー!!
もっとやれ!!
ヒューヒュー
…………!!

なんだ？
新しい踊り子だと
なかなかいいぞ!!
どれ
どうせならもっと脱いでくれよ!!!
チップ弾むぜ!!
取ればいいのですか？
わかりました
では
シュル
はらり
それはダメぇぇぇ〜っ!!!

……
ワァァァ

…あの人たち
どうして貴方のこと
あんなに好きなの？
!!

いや
俺と彼女たちは
そういう関係じゃ
ない
なら
どういう関係？
それは…
ガバッ
!!?

いや―――

静かに

んくっ

ザッ

バズの酒場踊り子が凄いらしいぜ
覗いてみねぇか?

スキモノ野郎が

思った通りだ

サクラさんたちのお陰でかなり動きやすくなった

愛情を利用する人は
嫌い

ザ…

ホント
キビしい

あれが石油を汲み上げる油井で…

向こうが製油施設だな

製油…？

石油は汲み出したままじゃ使えないんだ

だから釜で一旦蒸発させて

冷やす温度ごとで成分を分けるのさ

ガソリンスタンドでバイトしてたときの知識が

この世界で役に立つとはね…

…酒場で仕入れた
噂通りだ
ネレイデスの人は
見当たらないな…

でもっ

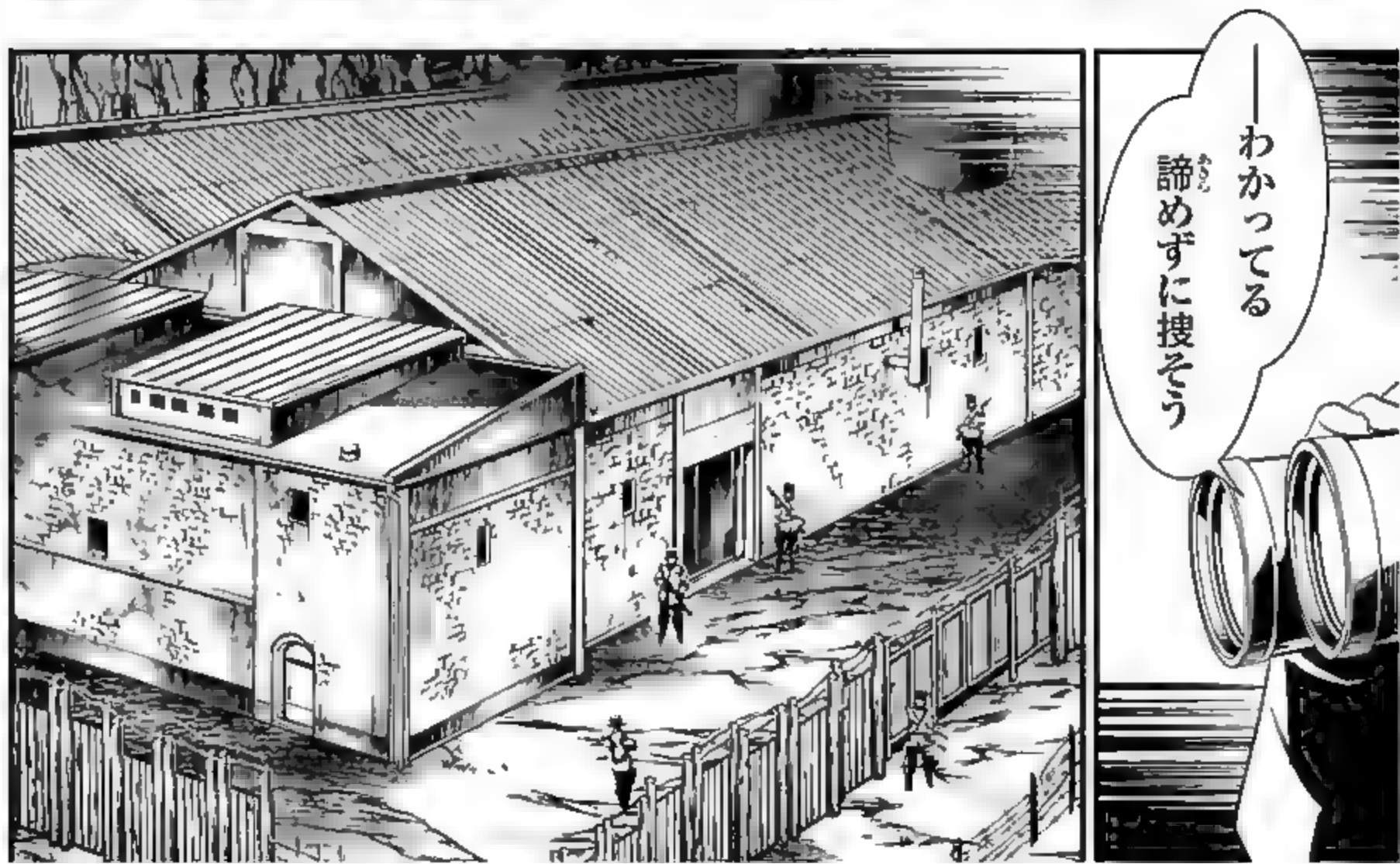
父さんも…
村の人たちも

何十人も
連れて来られてる

グッ

必ずどこかに
いる……!!

一箇所
妙に警備の厳重な
ところがある
行ってみよう
ガサササ
…ん…?
あれは…
あっ…!!!
ザザ

あれは…
君の同胞…
ネレイデスたちか!!

酷いな

こんな夜に
潜らされても
海の底は真っ暗
だろうに

ハァ
ハァ

ザブ

ゼ

黒キールを
獲らされてるんだ…!!

!!

シエラの話によれば
黒キール貝というのは酒場でおれが食べたキール貝の変異種らしい
この島にダーラのプラントが出来てからよく見かけるようになったという
黒キールは暗闇だとうすぼんやりと光るの
だから探すなら夜がいいんだけど…
でも身には毒があるから食べられないし…
真珠があっても真っ黒な上に形が歪で売りものにならない
そんな貝をなぜ…？

ぜっ
も…う
無理…っ
まだまだだ!!!
……っ!!!
待つんだ!!
…君の気持ちは
わかる
だが
今出て行っても
俺たちが捕まって
終わりだ

でも…っ!!!
必ず
彼らを助ける方法を考える
だから今は耐えてくれ
…いいね?
く…
君のお父さんもあの中に?
いなかった
フル
父さん病気でもう潜れないし…
そうか…

ここがさっき
言ってた場所？
どうやって
入るの？
この島には
材料が沢山
あるんでね
何本か作って
おいたのさ

油井が沢山
あるから
おそらく
敏感に反応
してくれる筈
……？

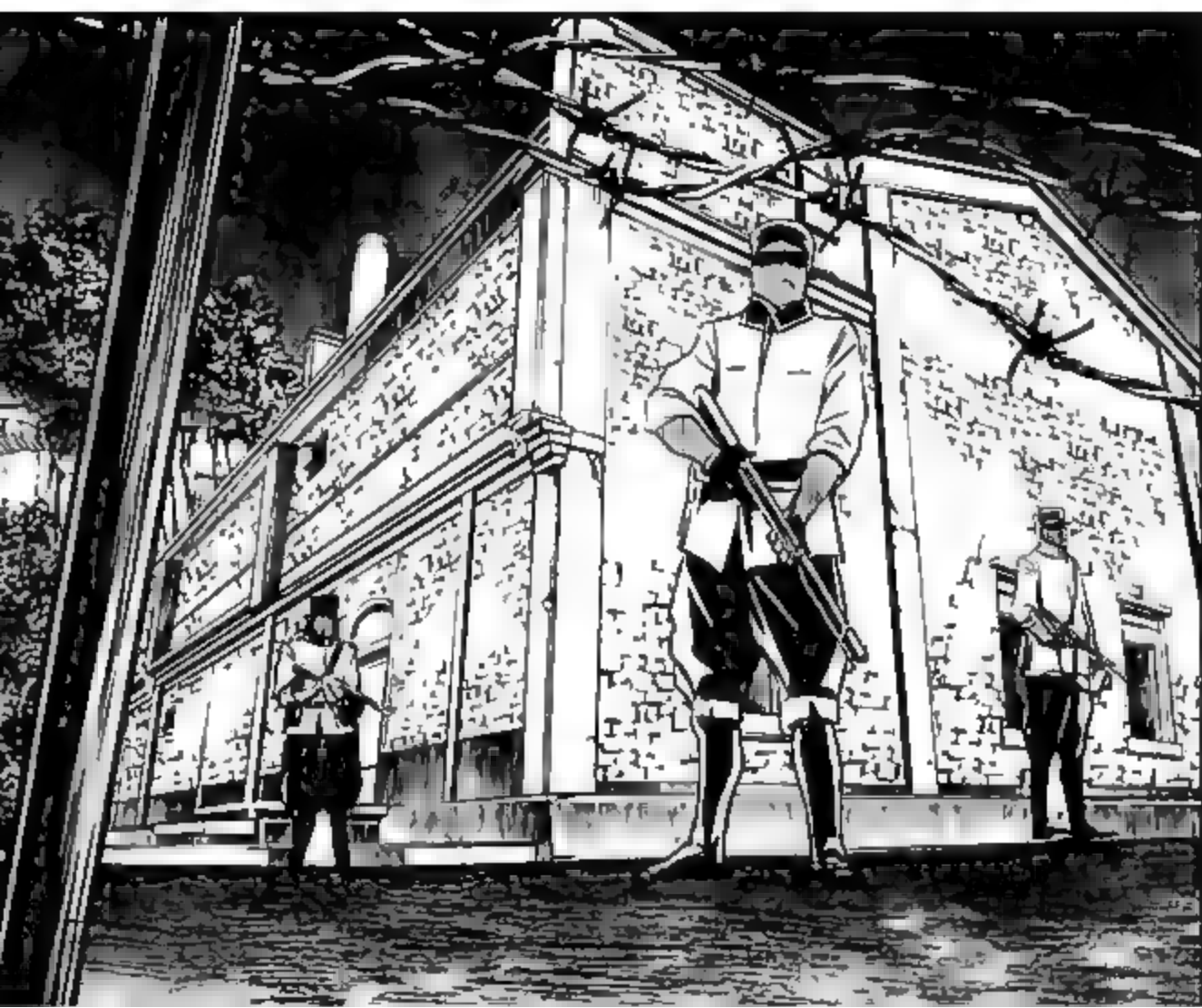
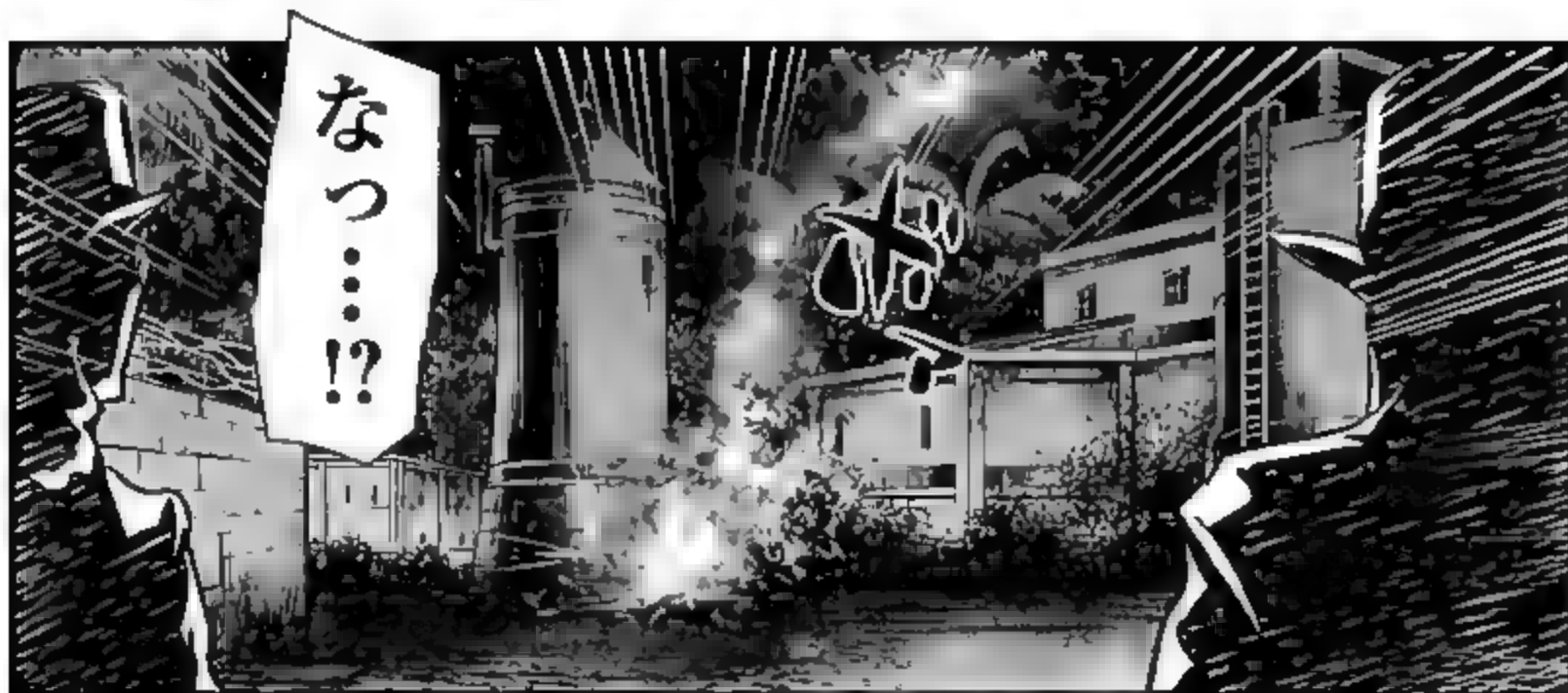
シュ
ボ

なっ…!?

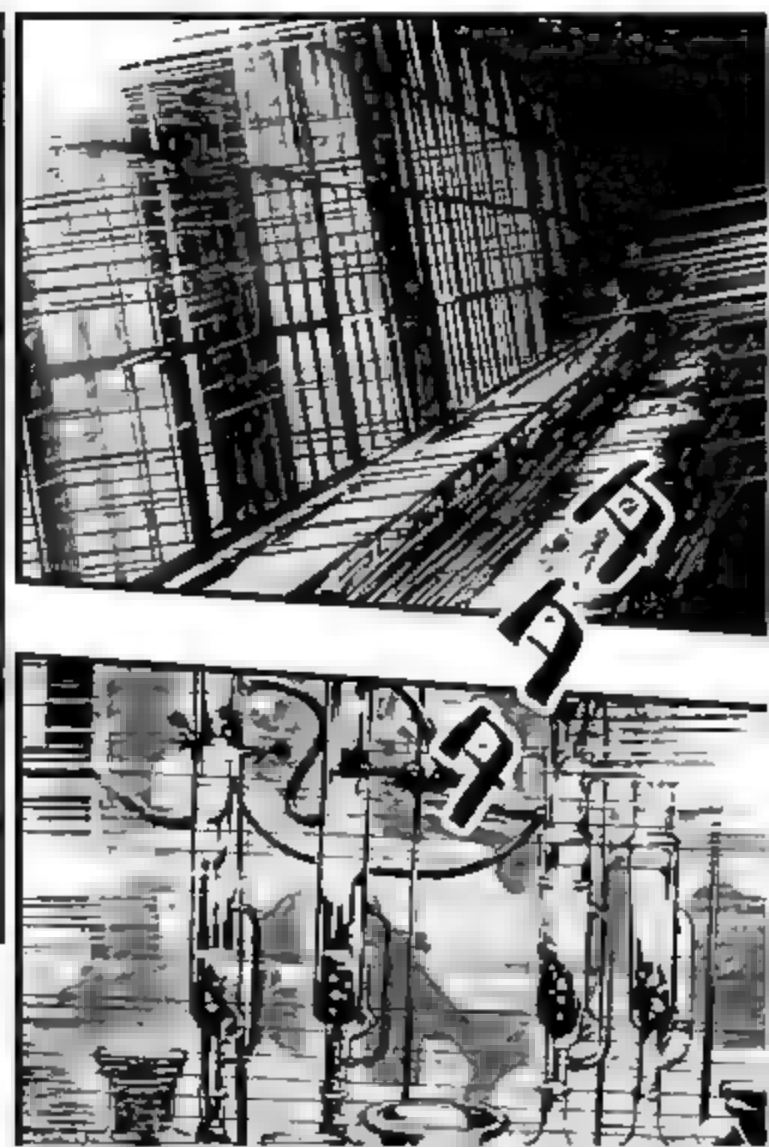
火事だと!?
くそっ…
消せ!!

ザカカ

いまのは……?

モロトフ・カクテル
もろとふ？
カッ…

カイが造ったのはいわゆる火炎瓶――
その最もシンプルなもので単純な作りの割に効果が高く
第二次大戦中フィンランドでゲリラなどに好んで使われた
〝モロトフ〟とは当時フィンランドと交戦中だったソ連外相の名に由来する

タタタ

これ…みんな黒キールの貝殻…

ネレイデスが集めた黒キール貝がここに…？
設備は化学実験用のそれっぽいけど…

一体──何を作ってるんだ──
……⁉

……おいい……

バッ

くれよ…あ・れ・を…
たのむよぉおお…っ
ヌ

お願いだ
もう耐えられねえ
いくらでも潜るよ
黒キール獲ってくるからよぉ…!!!
チラ
なんだ…これは…!!?
頼むよ!!
"血"をくれよぉぉ…!!!
まるで麻薬の中毒患者だ…

何を騒いでいる この半魚人ども!!!
これが中毒患者の成れの果てということか…
はい 我々の目的からしますと
明らかな失敗作ではありますが

で
新しい試作品というのは？
こちらにどうぞ
ブレド・レガン閣下
ブレド・レガン…!!!
あの男が!!!

堅固な貴族制であるダーラにあって

平民の出でありながら

スリーア総督となり

またこのネレイア島の領有を許された人物——

そして…

グレイさんの暗殺を

あのグール(屍食鬼)に指示した黒幕…

これが純度92％の〝人魚の血〟か

これまででも最高の出来かと

能書きはいい
試せ
はい
父さん…!!!
!!!
被験体か
この島の風土病に罹っている死に損ないです
――が
逆に〃血〃の実験には相応しいかと

既に6時間おきに二度ほど投与して

これが三度目になります

やめて…

おとう…さん ……

ガッ

ダメだ！今出たらやられる!!!

そもそも故国を失った敗残の民…

――せめて我々の役に立ち死ね

サクラさんも
ドルネアもいない
神呪化出来ない
おれなんかじゃ―
いまはなにも
………ッ!!!

神々が去り
世界がヒトの
版図となって以来
世界は二種類に
色分けされた
すなわち
搾取する者と
される者——
——恨むなら
世界に不要とされた
己自身を恨むといい

やめろッ!!!

貴様……!!

俺は
グレイ・エンフィールド

ブレド・レガン
貴様を倒す為に
地獄の淵から甦った男だ!!!

【ネレイア島】　一年を通して温暖な気候を持つタリアーデ海に浮かぶ島で、現在はダーラ共和国の植民地。周囲を海に囲まれた島であるが故に海産物が豊富で、魚介の加工品などが主な産物だが、近年、大規模な油田が発見され開発が進められている。だがそれらの産出物よりも、圧倒的にこの島を有名にしているのは、島の東側に存在する小さな島に残る巨大な遺跡"迷宮（ラビュリントス）"の存在である。かつてタリアーデ海を支配した海上帝国の遺産とも言われており、そこに眠る宝と伝説のロマンを求めて訪れる冒険者が後を絶たないが、いまだ迷宮を踏破したものはいないという。

【ネレイデス】　ネレイア島の先住民族。祖先はいわゆる"人魚"だとも伝えられているが、その子孫たるネレイデスたちには、透き通るような白い肌と耳の裏側から垂れ下がる薄いひれのような皮膚以外、目だった民族的特徴はない。だが人魚の末裔と言われるだけあり、泳ぎや潜水能力に長け、やはり泳ぎに長けることで知られるリザードマン等に比べても倍近く長く海に潜っていることができるという。豊かな海で漁労に勤しむ温和な種族だが、それ故にダーラによって侵略を受けた際には瞬く間に敗北し、住民の殆どは奴隷化されてしまった。

第16話／人魚の血

―カーセル―
マラガ亜大陸の
アルビオン植民地
『人魚の血』…
また
あの新型麻薬が
原因なのか

四肢が素手でねじ切られているな
これがあの小鬼の仕業とは…
ゲゲ
禁断症状で暴れ出し手が付けられなくなったと――
フン…「人魚の血」は最近本国でも流行し出していると聞くが…
思った以上に危険な麻薬のようだな
リュカ様
麻薬の売人の記憶を探ってみたのですが…
ネレイア島が!?

はい
どうやら
この麻薬の生産拠点のようです
色々繋がったな
フン
つまり「人魚の血」がブレド・レガンの資金源か…
対策を立て直す
商館に戻るぞ
…しかしこうなると
カイをネレイア島に送り込んだのは失敗だったかもしれないな
そう…ですか？
ヤツのことだ
任務を忘れて無駄に熱くなり——

暴走しかねんからな
ほっ…炎がいきなり…!!
これが神呪の力だ!!!

動くな！
動けば貴様たちも
この施設も
完全に
燃やし尽くす!!!

ひいっ…
捕らえられている
ネレイデスの人々も
解放してもらうぞ
父さん
こっちに!!

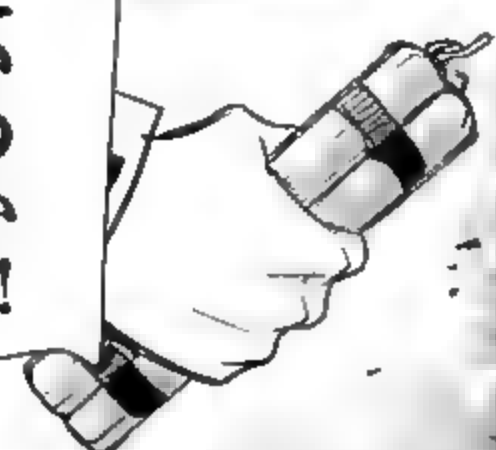
あ…う…
シエ…ラ…？
ほう…

貴様はこの敗残者たちを救う為に

地獄から甦ったというのか?

グレイ・エンフィールド

なんともつまらん戯言(ざれごと)だな

手を出すなよ！
これは神呪の魔法を詰めた爆弾だ
爆発させればお前達など軽く吹き飛ぶぞ！
駄目だな

致命的につまらんぞ
〃自称〃グレイ
きゃああああーっ!!!
貴様あああッ!!!

死にたいのか!!!
それが神呪の力?笑わせるな
それは科学の産物だ
マレビトがもたらした異世界に由来する技術――
……!!!
違うか?
こいつ…!?
殺したはずのグレイを名乗る男が現れたと聞き――
いつかまみえるだろうと楽しみにしていたのだがな

興醒めだ

消えろ

!!?
!!
シエラっ!!!
ズガガガ
ガラララ
閣下!!
ここはもう危険です
避難なさって下さい!!
ゴゴゴ…
隣接の地下油槽には精製済みの石油が満タンで入っています!!
火が入ったら付近一帯が吹き飛んでしまいます!!

時間切れか… 紛い物のグレイよ 俺に復讐したいならするがいい

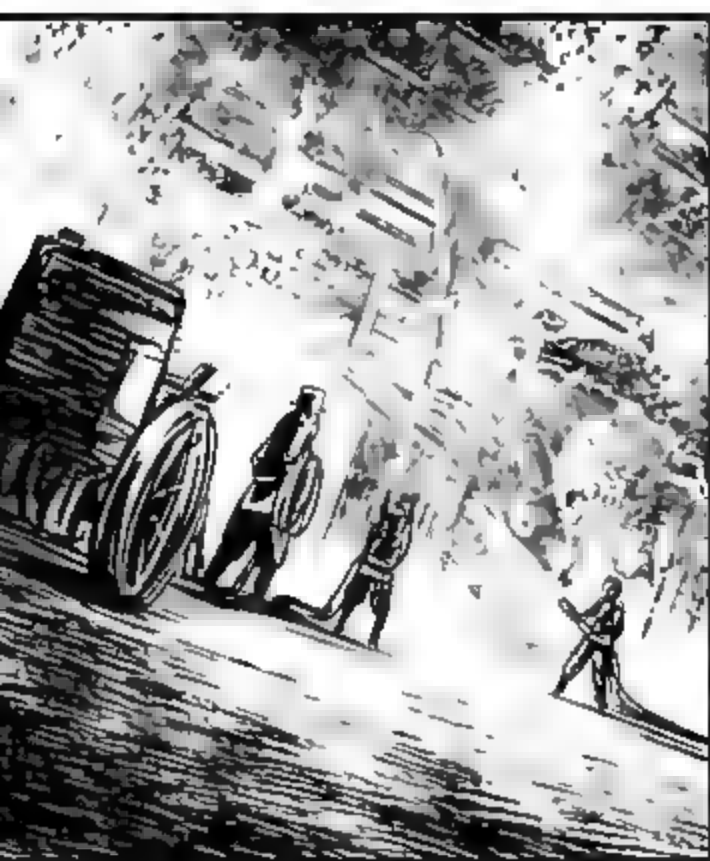
もっとも──

この場を生き延びることができれば

だがな

この施設は
吹き飛び
囚われている
ネレイデスたちは
皆――

カイ!!!

お願い
父さんを!!!
みんなを
助けて!!!
おねが…い…っ

こうなったら
イチか
バチかだ…

ああ
折角の実験体と
今まで集めた
黒キールが…!!
案ずるな
黒キールは既に
量産用の新工場に
移して―

馬鹿め
諦めたのか…
――!?

シュウウウウ
馬鹿な…火が
消えた…!?
まさか…本当に
神呪の力で…!?
──いや
違うな
…ふん
少しは楽しませて
くれそうだ
はぁ
カイ…
今のは一体…!?
はっ

爆風消火とは

爆弾を破裂させ
その爆風や衝撃波で
火元の周囲を
吹き飛ばし

燃焼に必須の酸素を奪い
また燃える部材そのものを
破壊することで消火する
方法である

大規模な森林火災や
油田火災の
鎮火に用いられる
ことがあるが

無論リスクも大きく

本来は
緻密(ちみつ)な計算の
上で使用される

お父さん!!

シエラ…か…

すまない…不甲斐ない父親で

…お前に…

無理をさせたくなかったのに…こんな…

もういい村に帰ろう

お前に重荷を背負わせたくなくて…嘘…をついてた…

許して…欲しい…

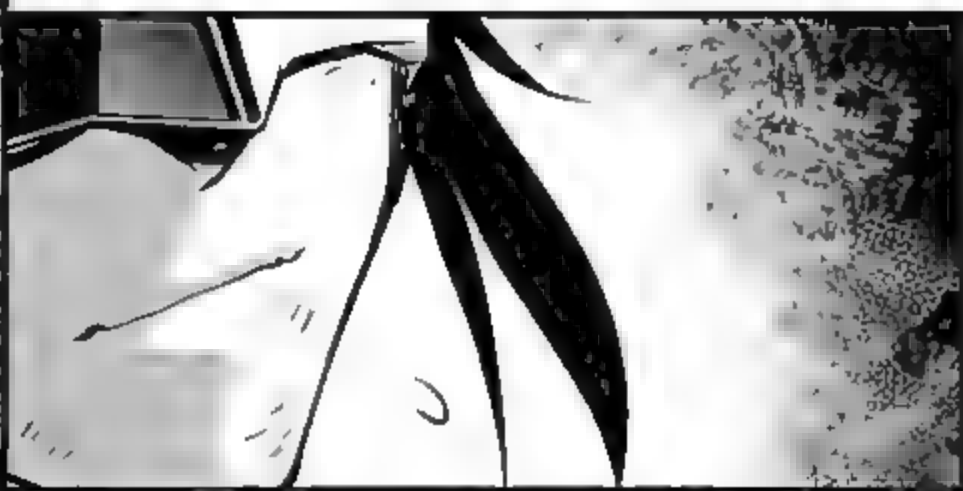
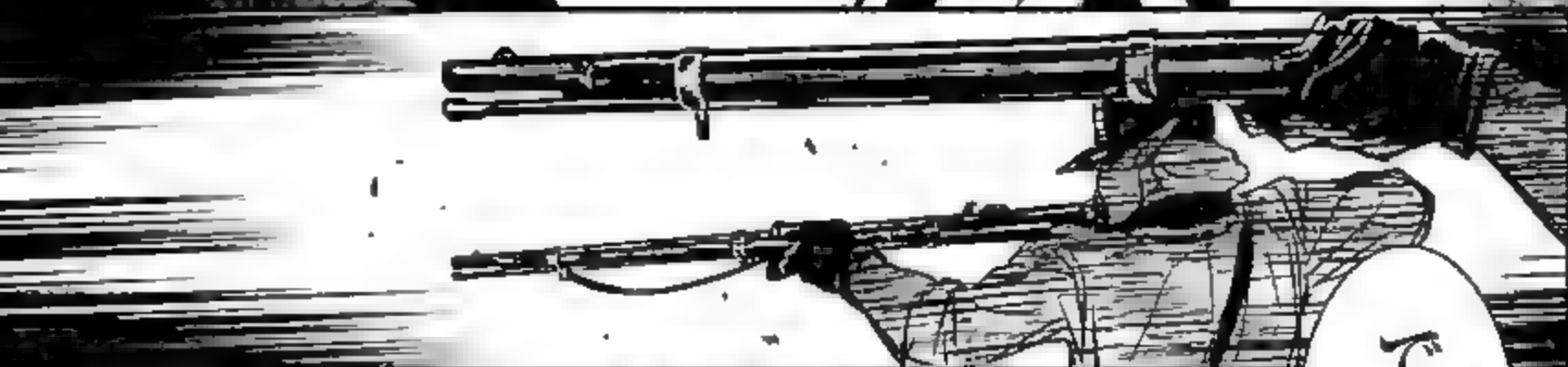
……!!

生き延びろ…
生きて
苦しむ同胞たちを
救ってくれ…
頼んだぞ…
シエ…
ラ
お父さんっ…!!

この騒ぎ…やはり原因は少佐が…？

予想外の事態ね…私たちも万一に備えましょう

殺しても構わん!!
絶対に逃すなよ!!
シエラ!!
ガラ
いたぞ!!
……!!

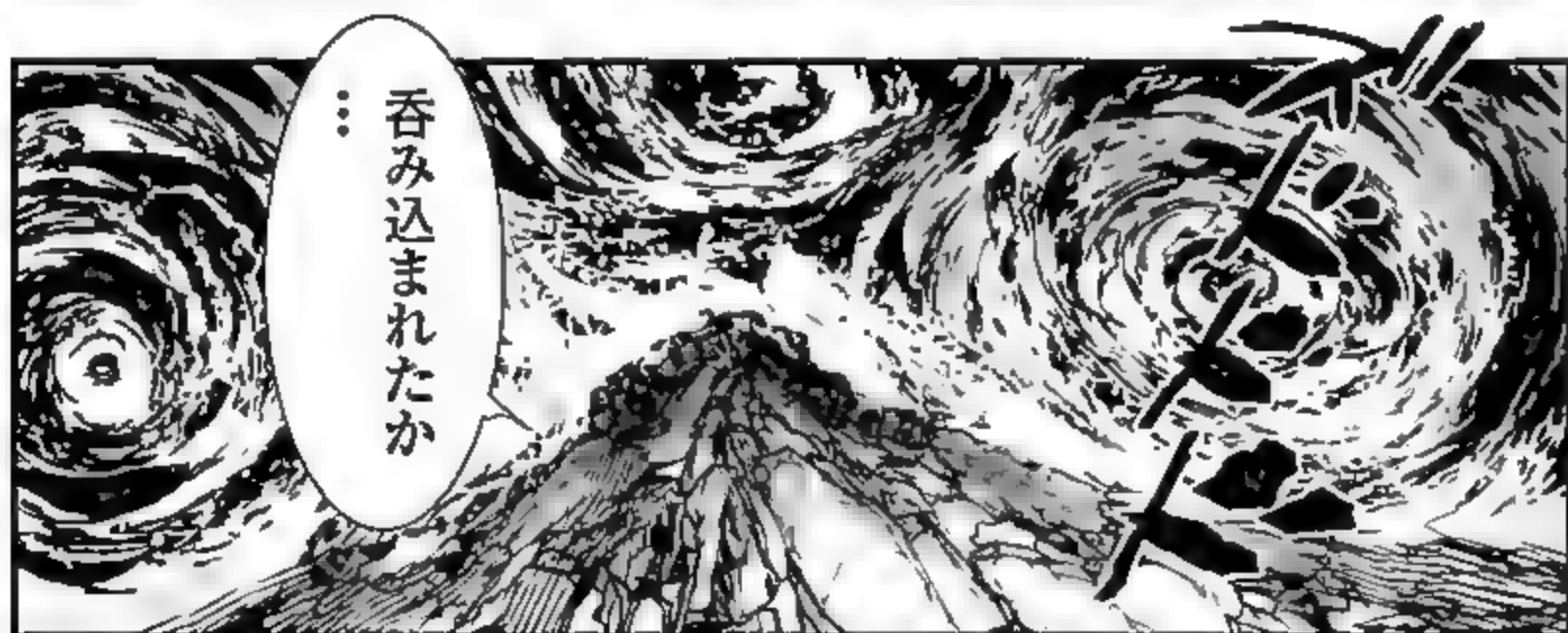
断崖の下は迷宮の渦だ
巻き込まれて助かったヤツはおらんぞ…
シエラ
キミ一人ならあの渦を越えて行けるかい？
できる…と思うけど…
まさか…!?
おれが時間を稼ぐ
ネレイデスを救えるというお父さんの話が本当なら
キミは迷宮を目指せ
でもそれじゃああなたが…!!

おれはずっと…
自分が世界に
不要だと思ってた
そんな自分が
大嫌いだった
でもね
キミや
サクラさんたちを
助けていると…
少しだけ
自分がマシな人間に
なった気がして

頼む

俺に
おれを嫌いに
させないでくれ

あなた…本当に
気障(きざ)

ギュ

ダアァ

撃て!!!

船を出して捜索をかけますか?

何やら迷宮に行くと言っていたようでしたが…

渦に飛び込んで生き延びたものはいないが

念のために船を出しておけ

ドドドド

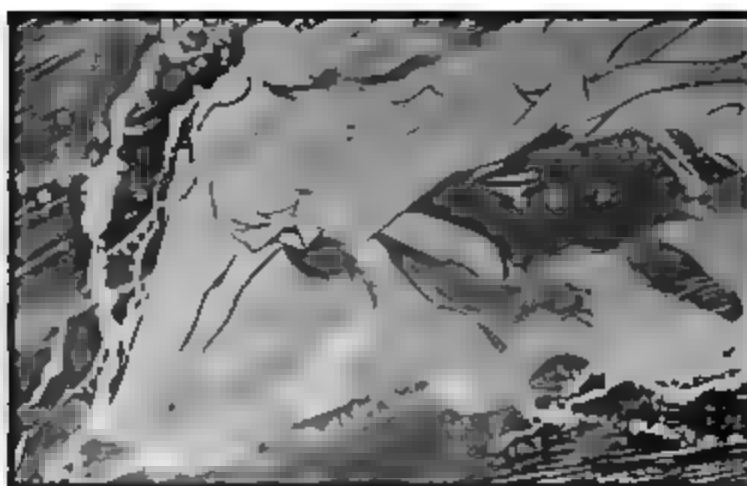
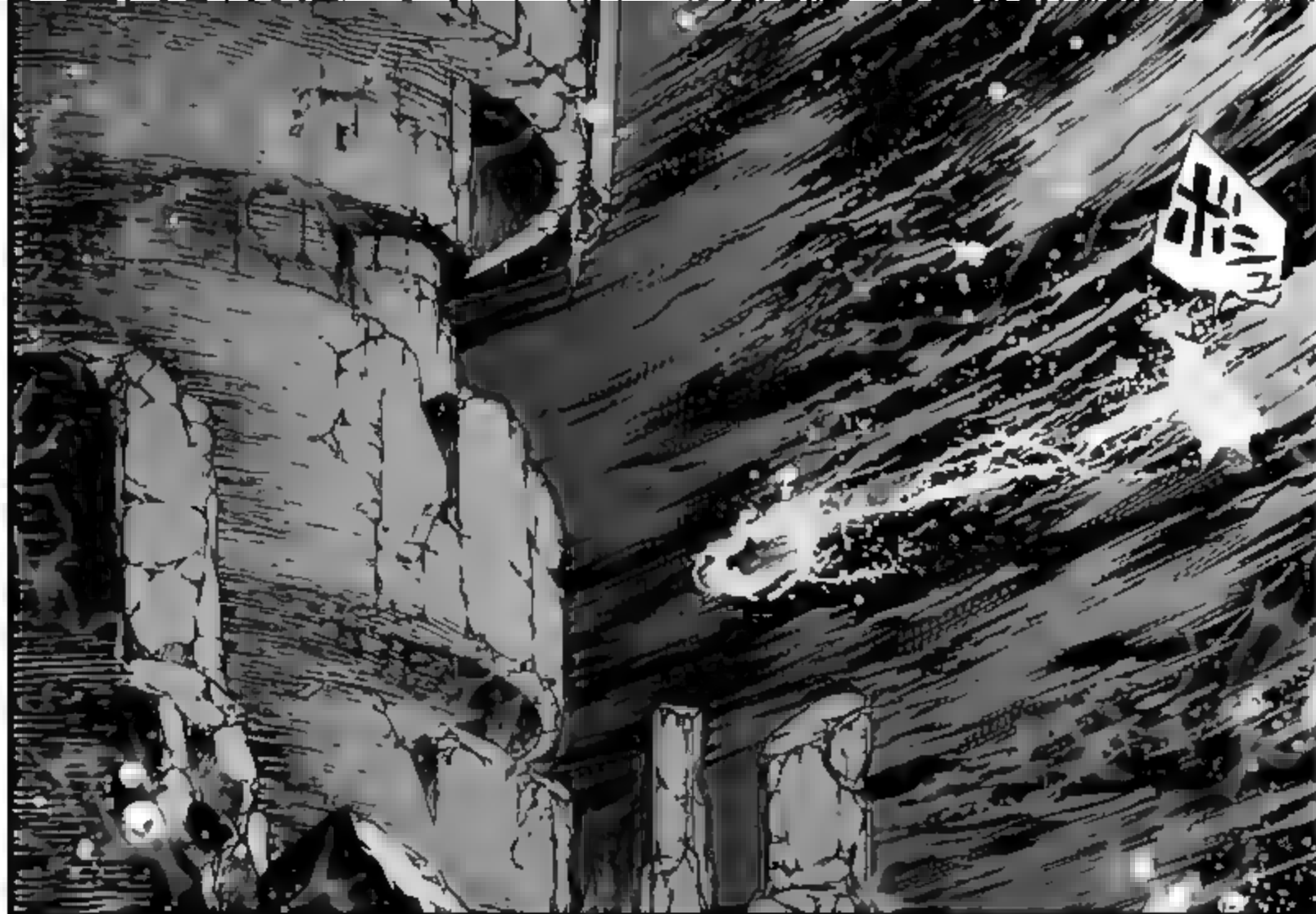
ボシュ

パシャ

カイ
カイ…っ!!

……!!

息をしてない…!!

ドッ
ドッ
ふっ ふっ…
ガッ
ガッ

息は吹き返したけど
身体が完全に冷え切ってる…
はっ
は

どうしよう
このままじゃ…
カタ
カタ

キュ

シュル
パサ

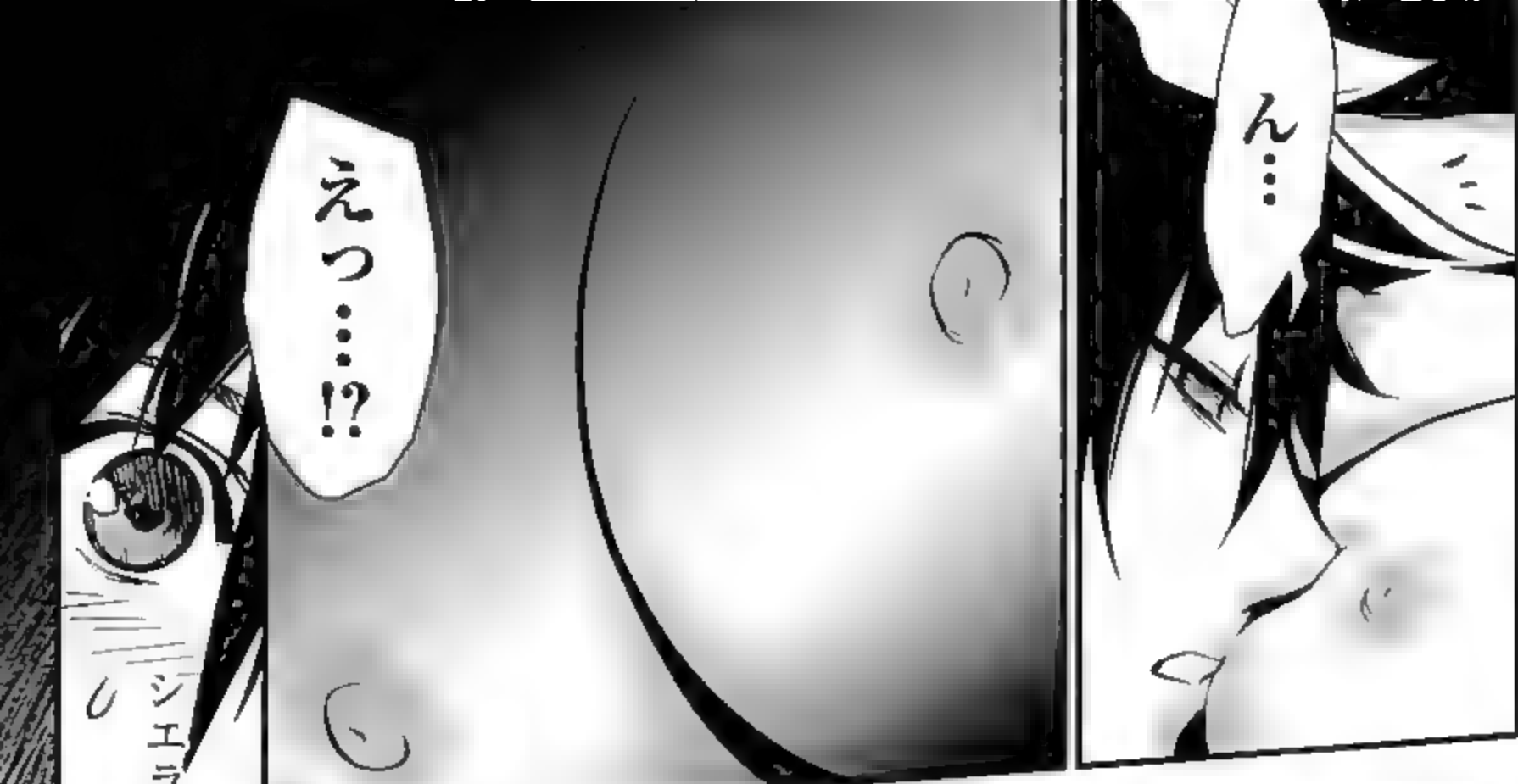
…でも
寝顔はこんなに
あどけない……
う…ん…
……
そ

ん…
えっ…!?
シエラさん…
はだかーーっ!!?
ギュ
むにゅ
んん.

パ
チ
……………

……………
……おはよう
もぞ

ぶぁ

死んで!!!

…じゃあ
ここは迷宮の中
なんだ
そう
渦に上手く
乗ると
ここに辿り着けるの
…母さんが
教えてくれた
秘密のルート…
君のお父さんが
言っていた
お母さんの
お伽噺って
…？
……
…海にまつわる
沢山のお伽噺…

主人公の王様やお姫様はみんな母さんのずっとずっと遠いご先祖さまで…
母さんも…私も…その血を引いているんだって…
子供の頃は無邪気に信じてたけど
……
母さんが亡くなると
父さんは『あれは母さんの夢物語だ』って言うようになったの
私も少しずつオトナになってあれは私を喜ばせるための作り話だと思うようになった
でも――

お父さん…

最後に
あんなこと…

ネレイデスを
助けることが
できるって言ってた…

あれは？

母さんが
言ってたの
王家の末裔が
迷宮に眠る
『蒼海の秘宝』を
手に入れられたら
海に沈んだ私たちの
王国が復活するんだって…

………

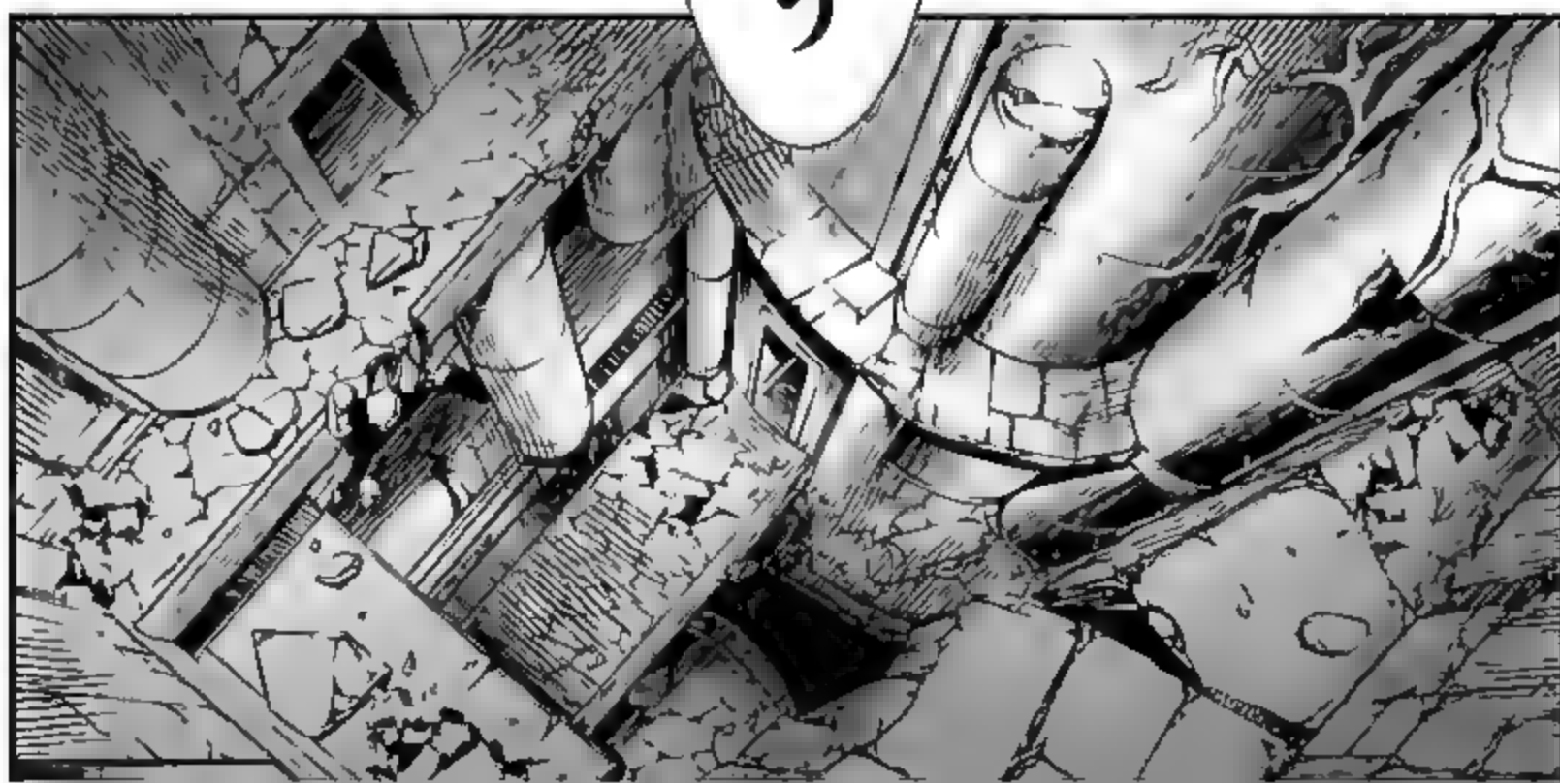
賭けてみよう
!!?
君のお父さんの今際の言葉が
嘘だとは思えない

みんなを救うんだ君の力で!!
君が進むならおれはどこまでも力を貸す
カイ…!!

ザッ

——行こう

『神呪のネクタール』第④巻／完

あとがき

前巻から数ヶ月のご無沙汰です。

『神呪のネクタール』第4巻、手にしていただき本当にありがとうございます!

×　　×　　×

やー、でも本当に早いモノで、感覚的にはあっという間にここまで来てしまいました。というのも、実は前作『聖痕のクェイサー』よりも一回あたりの連載ページを多めに戴いてまして、ネクタールは4話で一巻分になっちゃうんですよね（クェイサーは5話で一巻分でした。この差は結構大きい……!）。

説明が必要になりがちな異世界モノ……しかも、いわゆるエセ中世ヨーロッパ的世界より、もっと現代に近い時代感の異世界、などとゆー面倒臭い（笑）世界観を選んだこともあり、そこにさらにドラマを入れるには、ページ数が多い方が一話あたりの満足度が高かろうという判断なわけですが、クェイサーとの差は数ページとはいえ、なかなか地味に重いです（まぁ本当に重いのは原作の私よりも佐藤さんなのですが……／汗）。

×　　×　　×

ただ、そんな苦労も皆さんに楽しんでもらえれば、ふっとんでしまうのが作り手というもの。これからも、月刊連載作品にしては早いペースで単行本が続くと思いますが、ずっと手に取ってもらえる作品を目指し、佐藤さんも私も全力でがんばりますので、何卒、応援よろしくお願いいたします!

卯月某日　吉野弘幸

のねくたーる
◎私立アルビオン学園◎
◎安堂さくら
良家のお嬢様。
別人と思われる程
裏表の激しい性格。
廃部になった"古典芸能部"を
復活させるべく、カイを顧問に
しようと奔走中。
◎山辺どるね
美術工芸部。
いつもマスクをしている。
見た目は文化系…だけど
スポーツ万能。
兄が極度の心配性(シスコン)。
過保護な家庭から
自立したいと思っている。

魚住 詩江
小さな離島から特待生として転校してきた水泳部のホープ
海女さんとしてずっと家計を助けてきた孝行娘。実家のために働くか水泳を続けるか悩んでいる
倉内 りぎあ
無駄にまじめなクラスの副担任。グレイ先生に憧れ、厳正かつ毅然とした態度で教育にあたるのが信条。
でも生徒からはチョロイと思われがち。
渡里 塊
休職したグレイの代わりに赴任してきた新米教員。超有能生徒指導だったグレイと何かと比較され、頼りないところばかり目立つ。
古すぎて誰にも良くわからない謎古典芸能の部活の顧問にさせられてしまう。
…そんな私立アルビオン学園編
おっとページが…

神呪（しんじゅ）のネクタール④

2018年6月1日　初版発行

著　　者　　吉野弘幸（よしのひろゆき）・作
©HIROYUKI YOSHINO 2018
佐藤健悦（さとうけんえつ）・画
©KENETSU SATO 2018

発行者　　沖　　浩

発行所　　株式会社 秋田書店
〒102-8101　東京都千代田区飯田橋2-10-8
☎編集(03)3265-1326　販売(03)3264-7248
製作(03)3265-7373
振替口座　00130-0-99353

印刷所　　大日本印刷株式会社
Printed in Japan

ISBN978-4-253-23829-8

デジタル版　2018年発行
製作所　デジタルカタパルト株式会社
http://www.digital-catapult.com